

(4) 地形及び地質の状況

1) 一般的な地形の状況

調査地域の地形を図 2-2.10に示す。調査地域の地形は、山地、丘陵地が大半を占め、調査地域の東側に流れる木津川周辺に低地の谷底平野や自然堤防などが分布している。

また、丘陵地周辺には人工改変地がパッチ状に分布しているほか、河川周辺には帯状に低地（谷底平野）がみられる。事業実施想定区域は丘陵地に位置しており、隣接した南西側に人工改変地が分布しているものの、周囲は山地や丘陵地で囲われている。

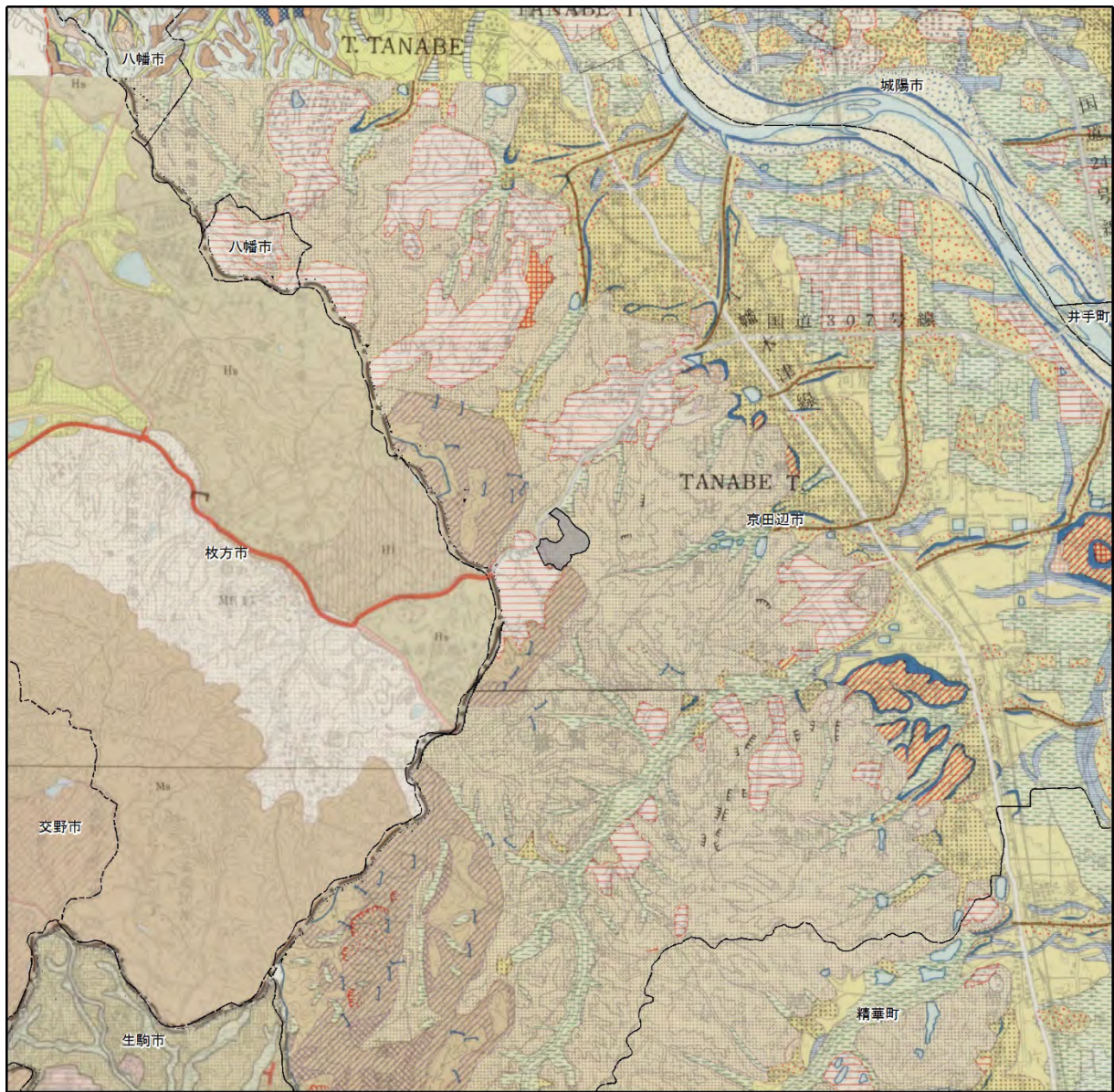
なお、「活断層データベース」（平成29年2月現在、産業技術総合研究所ホームページ）によると、調査地域に活断層は分布していない。

出典：「土地分類基本調査（地形分類図） 京都東北・京都東南・水口」（昭和59年、京都府・滋賀県）
：「土地分類基本調査（地形分類図） 京都西南」（昭和47年、経済企画庁）
：「土地分類基本調査（地形分類図） 大阪東北・奈良・上野」（昭和58年、京都府）
：「土地分類基本調査（地形分類図） 大阪西北・大阪東北」（昭和53年、大阪府）
：「土地分類基本調査（地形分類図） 奈良・大阪東北部・大阪東南部」（昭和57年、奈良県）

2) 一般的な地質、堆積物の状況

調査地域の地質を図 2-2.11に示す。調査地域の地質は、山地及び丘陵地には礫、砂礫及び砂が分布し、国見山から交野山周辺の山地は花崗岩、生駒山地の東側に位置する丘陵地は砂や砂礫が分布している。また、普賢寺川や穂谷川など調査地域を流れる河川周辺は礫、調査地域東側に流れる木津川周辺の低地は泥や砂が分布している。事業実施想定区域の地質は礫が大半を占めている。

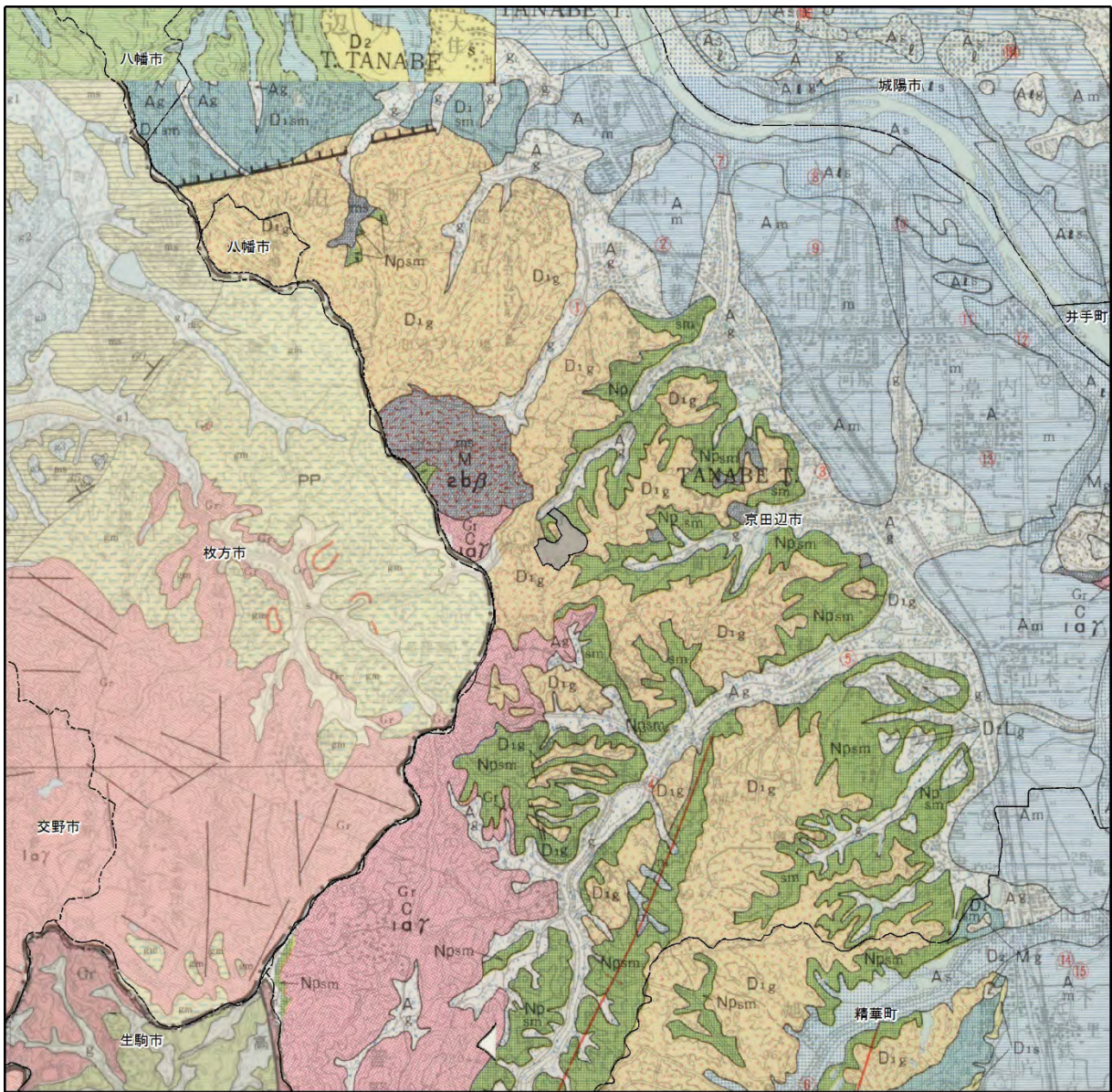
出典：「土地分類基本調査（表層地質図） 京都東北・京都東南・水口」（昭和59年、京都府・滋賀県）
：「土地分類基本調査（表層地質図） 京都西南」（昭和47年、経済企画庁）
：「土地分類基本調査（表層地質図） 大阪東北・奈良・上野」（昭和58年、京都府）
：「土地分類基本調査（表層地質図） 大阪西北・大阪東北」（昭和53年、大阪府）
：「土地分類基本調査（表層地質図） 奈良・大阪東北部・大阪東南部」（昭和57年、奈良県）



凡例



図 2-2.10 地形図



凡例

○ 事業実施想定区域

未固結堆積物

- g 礫，礫がち堆積物
- s 砂，砂がち堆積物
- m シルト・砂質粘土
- g1 礫（低位）
- g2 礫（中位）
- g3 礫（高位）
- m 泥がち堆積物
- ms 泥および砂
- gm 砂礫および砂

半固結堆積物

- g 礫（低位）
- g 礫（高位）
- s 砂
- sm 砂泥互層
- Sh 砂・粘土層
- sm 粘土・砂の互層（上部に礫層）

固結堆積物

- ms 泥岩を主としチャート・砂岩いす'状岩体を含む
- 深成岩類、火成岩類
- Gr 花崗岩質岩石

- 70 地層の走向および傾斜
- 背傾軸・向斜軸
- 断層
- A—A 断面線
- ボ-リング'柱状図の地点

岩片のかたさ

- a 軟（耐圧強度 100 kg / cm²以下）
- b 中（耐圧強度 100 ~ 400 kg / cm²）
- c 硬（耐圧強度 400 kg / cm²以上）

岩体のかたさ

- 1 軟（弾性波伝播速度 1.5 km / sec 未満）
- 2 中（弾性波伝播速度 1.5 ~ 3.0 km / sec）

風化帯の深度

- α 浅い（約 3m 以浅）
- β 中程度（約 3 ~ 10m）
- γ 深い（約 10m 以深）

出典：本文中に示す。

1:50,000



図 2-2.11 地質図

3) 重要な地形、地質及び自然現象の分布及び特性

① 重要な地形

調査地域の重要な地形一覧を表 2-2. 26に示す。調査地域にはいずれの地形も位置していると考えられ、そのうち浜新田及び京阪奈丘陵については、京都府レッドデータブック2015で重要な地形として指定されている。

表 2-2. 26 調査地域の重要な地形一覧

類型	名称	所在地	選定基準	
			京都府 RDB	大阪府 RL
自然堤防	浜新田	京田辺市浜新田	要注意	
丘陵	京阪奈丘陵	相楽郡精華町、京田辺市	消滅危惧	
中位段丘地形と構成層（信太山層）、及び大阪層群上部	枚方の中位段丘層	枚方市、寝屋川市		B ランク

注 1. 京都府 RDB：「京都府レッドデータブック 2015」（平成 27 年、京都府）掲載種

消滅： 京都府内の学術上高い価値を有する地形のうち、既に破壊され、現存しない地形。

消滅危惧： 京都府内の学術上高い価値を有する地形のうち、現在著しく破壊されつつある地形、または大規模開発などによって破壊が危惧され、緊急に保護を必要とする地形。

要注意： 京都府内の学術上高い価値を有する地形のうち、現時点で軽度の破壊を受けており、今後も破壊が続けば消滅が危惧される地形。

要継続保護： 京都府内の学術上高い価値を有する地形のうち、現時点では保存が良好であり、今後も保護を続けるべき地形。

注 2. 大阪府 RL：「大阪府レッドリスト 2014」（平成 26 年、大阪府）掲載種

A ランク： 規模的、質的にすぐれており、貴重性の程度が最も高く、全国的価値に相当するもの。

B ランク： A ランクに準ずるもので、地方的価値、都道府県の価値に相当するもの。

C ランク： B ランクに準ずるもので、市町村的価値に相当するもの。

注 3. 所在地は、出典に記載されているものであり、調査地域外の地名も含む。

出典：「京都府レッドデータブック 2015」（平成 27 年、京都府）

：「大阪府レッドリスト 2014」（平成 26 年、大阪府）

② 重要な地質

調査地域の重要な地質一覧を表 2-2. 27に示す。甘南備山の水晶は、京都府レッドデータブック2015で重要な地質として指定されている。

表 2-2. 27 調査地域の重要な地質一覧

分類	名称	特徴	地質時代	所在地	選定基準
					京都府 RDB
鉱物	水晶	酸化物		京田辺市甘南備山	消滅寸前

注 1. 京都府 RDB：「京都府レッドデータブック 2015」（平成 27 年、京都府）掲載種

消滅： 京都府内の学術上高い価値を有する地質のうち、既に破壊や掘削され現存しない地質。

消滅寸前： 京都府内の学術上高い価値を有する地質のうち、著しく破壊されつつある地質。または対象露頭はなくなったが、地下に対象物の延長はある地質。

消滅危惧： 京都府内の学術上高い価値を有する地質のうち、破壊が継続されれば、消滅が危惧される地質。または対象露頭は埋め立てられたが、そこに存在することが明らかなもの。

要注意： 京都府内の学術上高い価値を有する地質のうち、学術的には全ての地点に該当するが、ここでは特に期待される研究指針が指摘される地質。

注 2. 所在地は、出典に記載されているものであり、調査地域外の地名も含む。

出典：「京都府レッドデータブック 2015」（平成 27 年、京都府）

③ 重要な自然現象

京都府レッドデータブック2015及び大阪府レッドリスト2014によると、調査地域に重要な自然現象はない。

(5) 動植物の生息又は生育、植生及び生態系の状況

1) 動物

① 調査地域に生息する可能性のある重要種

「自然環境保全基礎調査(第2回～第6回)」(昭和53年～平成17年、環境庁、環境省)及び「京都府レッドデータブック2015」(平成27年、京都府)における動物の分布状況を整理し、調査地域に生息する可能性のある重要種を抽出した。

「自然環境保全基礎調査」で調査対象とした範囲は、調査地域を含む2次メッシュ(523515、523516、523525、523526)とした。調査地域を含む2次メッシュを図2-2.12に示す。

また、「京都府レッドデータブック2015」記載種のうち、府内の分布区域に「京田辺市」「山城地域」「木津川(淀川水系)」「南部地域」「府内全域」と記載があるものを抽出した。ただし、「府内全域」等の記載があっても、「局地的」や「ブナ林に生息する」等の説明があり、調査地域付近における生息情報として不適切と考えられる種は除外した。なお、「大阪府レッドリスト2014」(平成26年、大阪府)からは、掲載種の生息する地域についての情報が得られなかったため、文献の対象としなかった。

調査地域に生息する可能性のある重要種一覧(動物)を表2-2.28(1)～(5)に示す。

哺乳類は8種の重要種が確認された。ニホンザルやツキノワグマ、ニホンアナグマなど、樹林を主な生息環境とする種や、キツネやイタチなどの樹林から耕作地等を広く利用する種、ハタネズミやカヤネズミなどの草地に生息する種が確認された。

鳥類は82種の重要種が確認された。サシバ等の猛禽類のほか、チュウサギやコチドリ、イソシギ、オシドリ等の水辺を利用する種、アオバトやアオバズク、サンコウチョウ等の森林に生息する種が多く確認された。

爬虫類は11種の重要種が確認された。水辺でみられるクサガメ、ニホンスッポンや、草地から樹林に生息するニホントカゲやヤマカガシ、ニホンマムシ等が確認された。

両生類は10種の重要種が確認された。カスミサンショウウオ、アカハライモリのほか、水田等の水辺に生息するトノサマガエルや、樹林に生息するシュレーゲルアオガエル等のカエル類が確認された。

昆虫類は82種の重要種が確認された。ムカシヤンマやハッチョウトンボ等のトンボ類が半数以上を占めたほか、ヤスマツアメンボやタガメ等の水生昆虫、ウラギンスジヒョウモン等のチョウ類、オオクワガタやヨツボシカミキリ等のコウチュウ類等が確認された。

魚類は30種の重要種が確認された。ヤリタナゴやタモロコ、ドジョウ、ミナミメダカ等、水田や流れの緩やかな小河川に生息する種が多く確認された。なお、国の天然記念物に指定されているアユモドキは、第4回自然環境保全基礎調査においても確認されている。

貝類は20種の重要種が確認された。浅い河川等に生息するカワニナ類やモノアラガイ、陸生のナミマイマイ、淡水生の二枚貝であるイシガイやマシジミ等が確認された。

なお、「京都府レッドデータブック2015」では、これらの分類群以外の重要種として、甲殻類のモクズガニとクモ類のキノボリトタテグモが調査地域に生息する可能性のある種としてあげられる。

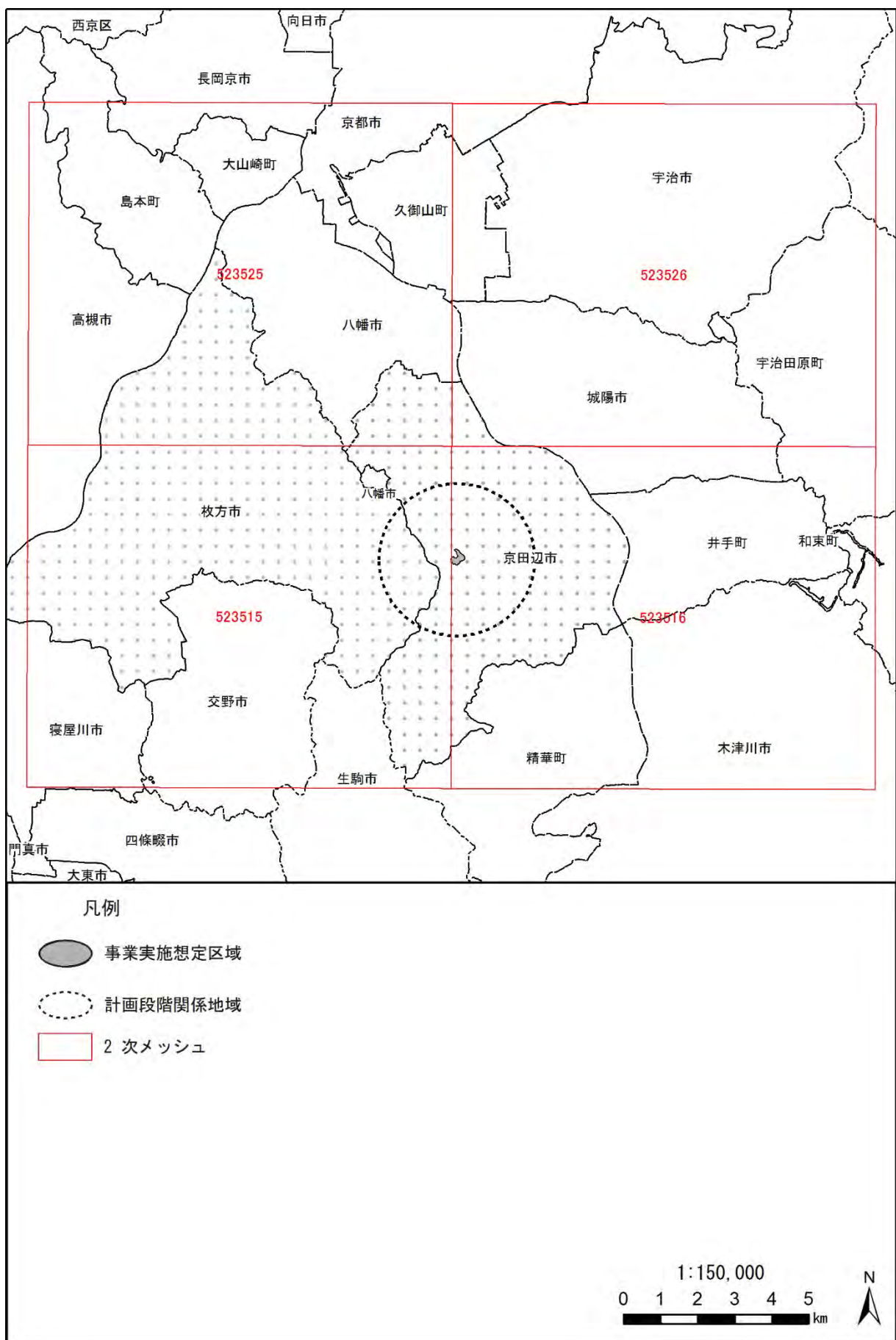


図 2-2.12 調査地域を含む2次メッシュ図

表 2-2. 28(1) 重要種一覧 (動物)

項目	No.	目名	科名	種名	文献資料	選定基準						
						①	②	③	④	⑤	⑥	⑦
哺乳類	1	モグラ目 (食虫目)	トガリネズミ科	サイゴクジネズミ	6						準絶	DD ^{**1}
	2	サル目 (霊長目)	オナガザル科	ニホンザル	3, 4, 5, 6						注目 ^{**2}	
	3	ネズミ目 (齧歯目)	ネズミ科	ハタネズミ	3, 4, 6						準絶	CR+EN
	4			カヤネズミ	3, 6						準絶 ^{**3}	NT
	5	ネコ目 (食肉目)	クマ科	ツキノワグマ	5		国際				寸前	
	6		イヌ科	キツネ	1, 3, 4, 5						注目 ^{**4}	CR+EN
	7		イタチ科	イタチ	3, 4							VU ^{**5}
	8			ニホンアナグマ	1, 5							NT ^{**6}
	合計		4目	6科	8種	-	0種	1種	0種	0種	0種	6種
鳥類	1	カイツブリ目	カイツブリ科	カイツブリ	1, 2, 6						準絶	
	2	コウノトリ目	サギ科	ヨシゴイ	1					NT	危惧	VU
	3			ミゾゴイ	1					VU	寸前	VU
	4			アマサギ	1							VU
	5			チュウサギ	1, 2, 6					NT	準絶	
	6	カモ目	カモ科	オンドリ	6					DD	準絶	
	7			トモエガモ	6					VU	準絶	
	8			シマアジ	6						準絶	
	9			ミコアイサ	2, 6						準絶	
	10	タカ目	タカ科	ミサゴ	6					NT	危惧	
	11			ハチクマ	6					NT	危惧	CR+EN
	12			オオタカ	6		国内	希少		NT	危惧	NT
	13			ツミ	6						危惧	VU
	14			ハイタカ	2, 6					NT	準絶	
	15			ノスリ	1, 6						準絶	NT
	16			サシバ	1, 6					VU	危惧	CR+EN
	17			クマタカ	6		国内			EN	危惧	CR+EN
	18			ハイイロチュウヒ	6						危惧	NT
	19			チュウヒ	6					EN	危惧	CR+EN
	20		ハヤブサ科	ハヤブサ	6		国内			VU	危惧	
	21			チョウゲンボウ	6						危惧	
	22			チゴハヤブサ	6						準絶	
	23	キジ目	キジ科	ウズラ	6					VU	寸前	CR+EN
	24			ヤマドリ	1, 6						準絶	
	25	ツル目	クイナ科	ヒクイナ	1, 6					NT	危惧	VU
	26			オオバン	6						準絶	
	27	チドリ目	タマシギ科	タマシギ	1			希少		VU	危惧	VU
	28		チドリ科	コチドリ	1, 2							NT
	29			イカルチドリ	6						準絶	VU
	30			シロチドリ	2, 6					VU	危惧	VU
	31			ムナグロ	6						準絶	VU
	32			ケリ	1, 2					DD		NT
	33			タゲリ	2, 6						準絶	NT
	34		シギ科	トウネン	6						危惧	NT
	35			ヒバリシギ	6						危惧	VU
	36			オジロトウネン	6						危惧	NT
	37			ハマシギ	2, 6					NT	準絶	
	38			アオアシシギ	6						準絶	VU
	39			クサシギ	2, 6						準絶	NT
	40			タカブシギ	2					VU		VU
	41			キアシシギ	6						準絶	NT
	42			イソシギ	2, 6						準絶	NT
	43			ソリハシシギ	6						危惧	VU
	44			ホウロクシギ	6					VU	危惧	NT
	45			チュウシャクシギ	6						準絶	NT
	46			ヤマシギ	6						危惧	
	47			タシギ	2							NT
	48			ハリオシギ	6						危惧	
	49			オオジシギ	6					NT	準絶	NT
	50			アオシギ	6						危惧	
	51		セイタカシギ科	セイタカシギ	6					VU	準絶	
	52		カモメ科	コアジサシ	1, 6		国際	希少		VU	危惧	CR+EN
	53	ハト目	ハト科	アオバト	1, 6						準絶	
	54	カッコウ目	カッコウ科	カッコウ	6						準絶	
	55			ツツドリ	1, 6						準絶	NT
	56	フクロウ目	フクロウ科	トラフズク	6						危惧	VU
	57			オオコノハズク	6						危惧	DD
	58			アオバズク	1, 6						準絶	VU
	59	ヨタカ目	ヨタカ科	ヨタカ	1, 6					NT	危惧	VU

表 2-2. 28(2) 重要種一覧 (動物)

項目	No.	目名	科名	種名	文献資料	選定基準									
						①	②	③	④	⑤	⑥	⑦			
鳥類	60	ブッポウソウ目	カワセミ科	ヤマセミ	6							危惧	NT		
	61			アカショウビン	1							危惧			
	62	キツツキ目	キツツキ科	アリスイ	6							準絶			
	63			アカゲラ	2, 6							準絶			
	64			オオアカゲラ	1								危惧	NT	
	65	スズメ目	ヒバリ科	ヒバリ	1, 2								NT		
	66		ツバメ科	コシアカツバメ	1								NT		
	67		サンショウクイ科	サンショウクイ	1, 6					VU		危惧	VU		
	68		カワガラス科	カワガラス	1								NT		
	69		ツグミ科		トラツグミ	6							準絶	NT	
	70				マミジロ	6								危惧	
	71				クロツグミ	1								準絶	
	72		ウグイス科		オオヨシキリ	1								NT	
	73				センダイムシクイ	1								NT	
	74				セッカ	1									NT
	75		ヒタキ科		ムギマキ	6							準絶		
	76				コサメビタキ	1, 6								危惧	VU
	77		カササギヒタキ科		サンコウチョウ	1, 6							準絶		
	78		ツリスガラ科		ツリスガラ	6							準絶		
	79	ホオジロ科		カシラダカ	2								NT		
	80			クロジ	6								危惧		
	81	アトリ科		ハギマシコ	6							準絶			
82	ムクドリ科		コムクドリ	6							危惧				
	合計	14 目	30 科	82 種	-	0 種	4 種	3 種	0 種	26 種	70 種	51 種			
爬虫類	1	カメ目	イシガメ科	ニホンイシガメ	6					NT	注目	NT			
	2			クサガメ	4, 6										
	3	有鱗目	スッポン科	ニホンスッポン	6					DD	注目				
	4		トカゲ科	ニホントカゲ	4, 6							注目			
	5		タカチホヘビ科	タカチホヘビ	6							注目	NT		
	6		ナミヘビ科		アオダイショウ	6							注目		
	7				ジムグリ	4, 6							注目		
	8				シロマダラ	6								注目	NT
	9				ヒバカリ	4, 6								注目	VU
	10				ヤマカガシ	4, 6							準絶	NT	
	11			クサリヘビ科	ニホンマムシ	6							注目		
	合計	2 目	6 科	11 種	-	0 種	0 種	0 種	0 種	2 種	11 種	5 種			
両生類	1	有尾目	サンショウウオ科	カスミサンショウウオ	6					希少	VU	寸前	CR+EN		
	2		イモリ科	アカハライモリ	6						NT	注目	NT		
	3	無尾目	ヒキガエル科	ニホンヒキガエル	6							準絶	VU		
	4		アカガエル科	ニホンアカガエル	6							注目	VU		
	5			トノサマガエル	3, 4, 6						NT	注目	NT		
	6			ナゴヤダルマガエル	3, 6					希少	EN	寸前	CR+EN ^{※7}		
	7			ツチガエル	3, 6							注目	NT		
	8			ヌマガエル科	ヌマガエル	4, 6							注目		
	9			アオガエル科	シュレーゲルアオガエル	4, 6							注目	NT	
	10				カジカガエル	6							注目		
	合計	2 目	6 科	10 種	-	0 種	0 種	2 種	0 種	4 種	11 種	8 種			

表 2-2. 28(3) 重要種一覧 (動物)

項目	No.	目名	科名	種名	文献資料	選定基準									
						①	②	③	④	⑤	⑥	⑦			
昆虫類	1	カゲロウ目 (蜉蝣目)	シロイロカゲロウ科	オオシロカゲロウ	6						注目				
	2	トンボ目	アオイトトンボ科	オツネイトンボ	6						準絶	NT			
	3	蜻蛉目)	イトトンボ科	キイトンボ	4							NT			
	4			ベニイトンボ	1					NT	準絶	NT			
	5			セスジイトンボ	4, 6						注目	NT			
	6			オオイトトンボ	6							注目	CR+EN		
	7			ヤンマ科	アオヤンマ	1, 4, 6					NT	危惧	VU		
	8				オオルリボシヤンマ	1, 4							NT		
	9				カトリヤンマ	4, 6							注目	NT	
	10				サラサヤンマ	4								NT	
	11			サナエトンボ科	ミヤマサナエ	6							注目	VU	
	12				ホンサナエ	1, 4								VU	
	13				ウチワヤンマ	4								NT	
	14				オオサカサナエ	1, 6						VU	注目	VU	
	15				メガネサナエ	1						VU	注目	VU	
	16				フタスジサナエ	6						NT	注目	NT	
	17				コサナエ	6								注目	
	18				オグマサナエ	3, 4, 6						NT	注目	VU	
	19				ムカシヤンマ科	ムカシヤンマ	1							準絶	NT
	20				エゾトンボ科	キイロヤマトンボ	1						NT	準絶	CR+EN
	21			ハネビロエゾトンボ		1, 6						VU	寸前	VU	
	22			トンボ科	エゾトンボ	1								VU	
	23				コフキトンボ	4								NT	
	24				ヨツボシトンボ	1, 4								NT	
	25				ハッチョウトンボ	1				天然			準絶	CR+EN	
	26				ナツアカネ	3, 4								NT	
	27				アキアカネ	4								NT	
	28				ナニワトンボ	1, 4						VU	準絶	VU	
	29				ノシメトンボ	4								NT	
	30				マイコアカネ	4, 6								注目	NT
	31				ヒメアカネ	4								注目	NT
	32				ミヤマアカネ	4, 6								準絶	NT
	33			ゴキブリ目 (網翅目)	チャバネゴキブリ科	ツチゴキブリ	6						注目		
	34			カマキリ目 (螳螂目)	カマキリ科	チョウセンカマキリ	6						注目		
	35	バッタ目 (直翅目)	バッタ科	カワラバッタ	6							危惧	EX		
	36			ショウリョウバッタモドキ	6							注目			
	37	イナゴ科	ダイリフキバッタ	1								NT			
	38		セグロイナゴ	6								危惧	VU		
	39	カメムシ目 (半翅目)	セミ科	ハルゼミ	1							NT			
	40		アメンボ科	エサキアメンボ	4, 6						NT	危惧	VU		
	41			ヤスマツアメンボ	4								NT		
	42			コオイムシ科	タガメ	1						VU	危惧	VU	
	43			タイコウチ科	ヒメミズカマキリ	4							危惧	NT	
	44			チョウ目 (鱗翅目)	セセリチョウ科	ホソバセセリ	3							NT	
	45		ギンイチモンジセセリ	ギンイチモンジセセリ	1, 6						NT	危惧	EX		
	46			オオチャバネセセリ	3, 4								NT		
	47			シジミチョウ科	ウラジロミドリシジミ	1							準絶	NT	
	48		ウラナミアカシジミ	3, 6								準絶	VU		
	49		ミドリシジミ	3									NT		
	50		クロシジミ	3							EN	準絶	CR+EN		
	51		タテハチョウ科	ウラギンスジヒョウモン	6							VU	危惧	CR+EN	
	52			オオウラギンスジヒョウモン	3									NT	
	53			オオウラギンヒョウモン	1, 6							CR	寸前	EX	
	54			オオムラサキ	1, 6							NT	準絶	NT	
	55	ヒメキマダラヒカゲ		6								準絶	NT		
	56	アゲハチョウ科	ギフチョウ	1					天然	VU	危惧	CR+EN			
	57	ツバメガ科	ギンツバメ	6								注目			
	58	ハエ目 (双翅目)	ミズアブ科	コガタミズアブ	6							危惧			
	59		ムシヒキアブ科	アオメアブ	6								注目		
	60			オオイシアブ	6								注目		
	61		ハナアブ科	ルリハナアブ	6								準絶		
	62			ニセクロオビハラブトハナアブ	6								注目		
	63			ハチモドキハナアブ	6								準絶		
	64		コウチュウ目 (鞘翅目)	ハンミョウ科	ヨドシロヘリハンミョウ	4						VU		EX	
	65	ハンミョウ			6								危惧	NT	
	66	ゲンゴロウ科		シャープゲンゴロウモドキ	1						CR	絶滅	EX		
	67	ガムシ科		ガムシ	6						NT	注目	NT		

表 2-2. 28(4) 重要種一覧 (動物)

項目	No.	目名	科名	種名	文献資料	選定基準								
						①	②	③	④	⑤	⑥	⑦		
昆虫類	68	コウチュウ目	シデムシ科	ツシマヒラタシデムシ	1								NT	
	69	(鞘翅目)	クワガタムシ科	オオクワガタ	6					VU	寸前	VU		
	70		コメツキムシ科	チャイロムナボソコメツキ	1, 6						注目	NT		
	71		ヨツボシミズギワコメツキ	6						注目				
	72		ヤマモトツヤミズギワコメツキ	6						注目	DD			
	73		ニホンチビマメコメツキ	6						注目	DD			
	74		キョウトチビマメコメツキ	6						注目				
	75		ニセニホンチビマメコメツキ	6						注目				
	76		ヒラタクシコメツキ	6						注目	DD			
	77		テントウムシ科	ハラグロオオテントウ	1							NT		
	78		ゴミムシダマシ科	コメノゴミムシダマシ	6						注目			
	79		カミキリムシ科	ヨツボシカミキリ	6					EN	注目	VU		
	80		オトシブミ科	コブルリオトシブミ	6						注目			
	81		ゾウムシ科	アオヒゲナガクチブゾウムシ	6						注目			
82	チビゾウムシ科	ケシチビゾウムシ	6						注目					
合計	9目	36科	82種	-	0種	0種	0種	2種	22種	60種	63種			
魚類	1	コイ目	コイ科	ガンゴロウブナ	3, 4					EN				
	2			ヤリタナゴ	3					NT	準絶	CR+EN		
	3			アブラボテ	6						NT	準絶	CR+EN	
	4			カネヒラ	3, 4, 6							危惧		
	5			イチモンジタナゴ	3, 4, 6						CR	寸前	CR+EN	
	6			シロヒレタビラ	3, 4, 6						EN	危惧	CR+EN	
	7			ワタカ	3, 4						CR	注目	CR+EN	
	8			ハス	3, 4, 6						VU	注目	NT	
	9			ヌマムツ	6								準絶	VU
	10			アブラハヤ	6								寸前	DD
	11			ウグイ	4									DD
	12			カワヒガイ	4, 6							NT	危惧	CR+EN
	13			タモロコ	3, 4									NT
	14			ホンモロコ	3						CR	注目		
	15			ゼゼラ	3, 4						VU	危惧	VU	
	16			ヨドゼゼラ	6						EN	準絶	VU	
	17			ツチフキ	6						EN	寸前	CR+EN	
	18			デメモロコ	3						VU	注目	DD	
	19			スゴモロコ	3						VU			
	20			ドジョウ科		アユモドキ	3	天然	国内	希少	天然	CR	寸前	CR+EN
	21	ドジョウ	3, 4								DD		VU	
	22	シマドジョウ	3										NT	
	23	ナミスジシマドジョウ	4								VU ^{**8}	寸前 ^{**8}	CR+EN ^{**8}	
	24	チュウガタスジシマドジョウ	6								VU	寸前	CR+EN	
	-	スジシマドジョウ種群	3, 4								VU ^{**9}	寸前 ^{**9}	CR+EN ^{**9}	
	25	ナマズ目	ギギ科	ギギ	3, 4							NT		
	26		ナマズ科	ビワコオオナマズ	3, 4							注目	NT	
	27			ナマズ	3, 4								NT	
	28	サケ目	アユ科	アユ	3, 4							NT		
	29	ダツ目	メダカ科	ミナミメダカ	4					VU ^{**10}	危惧	VU		
30	スズキ目	ハゼ科	旧トウヨシノボリ類	3, 4							DD ^{**11}			
合計	5目	7科	30種	-	1種	1種	1種	1種	19種	20種	26種			

表 2-2. 28(5) 重要種一覧 (動物)

項目	No.	目名	科名	種名	文献資料	選定基準							
						①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	
貝類	1	ニナ目	タニシ科	マルタニシ	6					VU	準絶	VU	
	2			オオタニシ	6					NT	準絶	VU	
	3		カワニナ科	イボカワニナ	3					NT		VU	
	4			ナカセコカワニナ	3					CR+EN	寸前	EX	
	5			ヤマトカワニナ	3					NT	寸前	CR+EN	
	6			クロダカワニナ	3					NT	危惧	VU	
	7	モノアラガイ目	モノアラガイ科	コシダカヒメモノアラガイ	3					DD			
	8			モノアラガイ	3, 6					NT	準絶	CR+EN	
	9		ヒラマキガイ科	ヒラマキミズマイマイ	3					DD			
	10	マイマイ目	ニッポンマイマイ科	コベソマイマイ	3						準絶		
	11		オナジマイマイ科	クチマガリマイマイ	3						NT	危惧	
	12			コオオベソマイマイ	6							注目	
	13			ナミマイマイ	3, 4							注目	
	14	イシガイ目	イシガイ科	マルドブカイ	3						VU		
	15			イケチョウガイ	6						CR+EN	寸前	EX
	16			マツカサガイ	6						NT	準絶	VU
	17			トンガリササノハガイ	3						NT		VU
	18			オグラヌマガイ	3						CR+EN	寸前	CR+EN
	19			イシガイ	4								NT
	20	ハマグリ目	シジミ科	マシジミ	3, 4, 6						VU	危惧	VU
	合計	5 目	8 科	20 種	-	0 種	0 種	0 種	0 種	16 種	14 種	13 種	

注 1. 種名及び種の配列は「河川水辺の国勢調査のための生物リスト 平成 28 年度版」に準拠した。

注 2. 重要種の選定基準

- ① 文化財保護法 (昭和 25 年法律第 214 号) に基づく天然記念物に指定されている種
- ② 絶滅のおそれのある野生動植物の種の保存に関する法律 (平成 4 年法律第 75 号) において希少野生動植物種に指定されている種
国内：国内希少野生動植物種 国際：国際希少野生動植物種
- ③ 京都府絶滅のおそれのある野生生物の保全に関する条例 (平成 19 年京都府条例第 51 号) において指定希少野生生物に指定されている種
- ④ 京都府文化財保護条例 (昭和 56 年京都府条例第 27 号) に基づく天然記念物に指定されている種
- ⑤ 「環境省レッドリスト 2015」(平成 27 年 9 月、環境省) において指定されている種
CR+EN：絶滅危惧 I 類、CR：絶滅危惧 I A 類 EN：絶滅危惧 I B 類 VU：絶滅危惧 II 類 NT：準絶滅危惧 DD：情報不足
- ⑥ 「京都府レッドデータブック 2015」(平成 27 年、京都府) において指定されている種
絶滅：絶滅種 寸前：絶滅寸前種 危惧：絶滅危惧種 準絶：準絶滅危惧種 注目：要注目種
- ⑦ 「大阪府レッドリスト 2014」(平成 26 年、大阪府) において指定されている種
CR+EN：絶滅危惧 I 類 VU：絶滅危惧 II 類 NT：準絶滅危惧 DD：情報不足

注 3. 重要種の選定について

- ※1 ニホンジネズミ *Crocidura dsinezumi* での指定
- ※2 ホンドザル *Macaca fuscata fuscata* での指定。
- ※3 ホンシュウカヤネズミ *Micromys minutus japonicus* での指定。
- ※4 ホンドキツネ *Vulpes vulpes japonica* での指定。
- ※5 ニホンイタチ *Mustela itatsi* での指定。
- ※6 アナグマ *Meles meles* での指定。
- ※7 ダルマガエル *Rana porosa* での指定。
- ※8、9 チュウガタスジシマドジョウ *Cobitis striata striata* での指定。
- ※10 メダカ南日本集団 *Oryzias latipes* での指定。
- ※11 トウヨシノボリ *Rhinogobius kurodai* での指定。

出典：文献資料 1：第 2 回自然環境保全基礎調査 (昭和 53 年～55 年、環境省)
文献資料 2：第 3 回自然環境保全基礎調査 (昭和 58 年～63 年、環境省)
文献資料 3：第 4 回自然環境保全基礎調査 (昭和 63 年～平成 5 年、環境省)
文献資料 4：第 5 回自然環境保全基礎調査 (平成 5 年～11 年、環境省)
文献資料 5：第 6 回自然環境保全基礎調査 (平成 11 年～17 年、環境省)
文献資料 6：「京都府レッドデータブック 2015」(平成 27 年、京都府)

② 事業実施想定区域周辺で確認されている動物の生息状況

事業実施想定区域周辺（枚方市大字尊延寺）において、枚方市東部清掃工場の建設計画に当たり、平成5年及び平成10～11年にかけて動植物調査（環境影響評価）が実施されている。この調査結果から確認種及び重要種の情報を整理した。

事業実施想定区域周辺における現地調査の概要（動物）を表 2-2. 29に示す。

表 2-2. 29 事業実施想定区域周辺における現地調査の概要（動物）

項目	調査時期	調査方法
哺乳類	平成5年3月25日～27日（春季1回目） 平成5年4月26日～28日（春季2回目） 平成5年5月19日～21日（春季3回目）	ラインセンサス トラップ（はじき罠） 聞き取り調査
両生・爬虫類	平成5年7月1日（夏季1回目） 平成5年7月26日～27日（夏季2回目） 平成5年9月29日～10月2日（秋季1回目） 平成5年11月9日～11日（秋季2回目） 平成5年12月14日～15日（冬季1回目）	ラインセンサス ため池・河川踏査による任意観察・採集 聞き取り調査
鳥類	平成4年12月15日（冬季1回目） 平成5年3月24日（春季1回目） 平成5年4月27日（春季2回目） 平成5年5月20日（春季3回目） 平成5年7月1日（夏季1回目） 平成5年7月28日～30日（夏季2回目） 平成5年10月1日（秋季1回目） 平成5年11月10日（秋季2回目） 平成5年12月14日～15日（冬季2回目）	ルートセンサス 定点観察 夜間調査 聞き取り調査
昆虫類	平成5年3月25日～27日（春季1回目） 平成5年4月26日～28日（春季2回目） 平成5年5月19日～21日（春季3回目） 平成5年7月1日（夏季1回目） 平成5年7月26日～30日（夏季2回目） 平成5年9月29日～10月2日（秋季1回目） 平成5年11月9日～10日（秋季2回目）	任意採集 ベイトトラップ ライトトラップ ホタル調査
哺乳類、鳥類、両生・爬虫類、昆虫類（補足調査）	平成10年8月4日～5日（夏季） 平成10年10月8日～9日（秋季） 平成10年11月17日～18日（秋季） 平成10年12月15日～16日（冬季） 平成11年3月29日～30日（春季） 平成11年4月27日～28日（春季） 平成11年5月26日（春季） 平成11年6月9日～10日（春季）	哺乳類：目視、フィールドサイン調査 鳥類：定点観察 両生・爬虫類：目視、任意採取等 昆虫類：任意採取、目視
水生生物	平成4年12月18日（冬季1回目） 平成5年3月24日～27日（春季1回目） 平成5年4月26日～28日（春季2回目） 平成5年5月19日～21日（春季3回目） 平成5年7月1日（夏季1回目） 平成5年7月27日、29日（夏季2回目） 平成5年9月29日～10月2日（秋季1回目） 平成5年12月14日～16日（冬季2回目）	目視観察 セルビン、手網を用いた採捕 コドラート調査

出典：「枚方市ごみ処理施設（仮称）第2清掃工場建設計画に係る環境影響評価書」（平成11年、枚方市）

ア 哺乳類

事業実施想定区域周辺において、哺乳類は4目5科8種が確認されており、そのうち2目3科3種が重要種に該当した。哺乳類の重要種一覧を表 2-2. 30に示す。

哺乳類の重要種は、ススキやオギなどのイネ科草本群落が優占する草地に生息するカヤネズミ、樹林や草地に生息するキツネ、水辺等を中心に幅広い環境を利用するイタチである。

表 2-2. 30 事業実施想定区域周辺における哺乳類の重要種一覧

No.	目名	科名	種名	選定基準						
				①	②	③	④	⑤	⑥	⑦
1	ネズミ目 (齧歯目)	ネズミ科	カヤネズミ						準絶 ^{※1}	NT
2	ネコ目 (食肉目)	イヌ科	キツネ						注目 ^{※2}	CR+EN
3		イタチ科	イタチ							VU ^{※3}
合計	2目	3科	3種	0種	0種	0種	0種	0種	2種	3種

注 1. 種名及び種の配列は「河川水辺の国勢調査のための生物リスト 平成 28 年度版」に準拠した。

注 2. 重要種の選定基準

① 文化財保護法 (昭和 25 年法律第 214 号) に基づく天然記念物に指定されている種

② 絶滅のおそれのある野生動植物の種の保存に関する法律 (平成 4 年法律第 75 号) において希少野生動植物種に指定されている種

国内：国内希少野生動植物種 国際：国際希少野生動植物種

③ 京都府絶滅のおそれのある野生生物の保全に関する条例 (平成 19 年京都府条例第 51 号) において指定希少野生生物に指定されている種

④ 京都府文化財保護条例 (昭和 56 年京都府条例第 27 号) に基づく天然記念物に指定されている種

⑤ 「環境省レッドリスト 2015」(平成 27 年 9 月、環境省) において指定されている種

CR+EN：絶滅危惧 I 類、CR：絶滅危惧 I A 類 EN：絶滅危惧 I B 類 VU：絶滅危惧 II 類

NT：準絶滅危惧 DD：情報不足

⑥ 「京都府レッドデータブック 2015」(平成 27 年、京都府) において指定されている種

絶滅：絶滅種 寸前：絶滅寸前種 危惧：絶滅危惧種 準絶：準絶滅危惧種 注目：要注目種

⑦ 「大阪府レッドリスト 2014」(平成 26 年、大阪府) において指定されている種

CR+EN：絶滅危惧 I 類 VU：絶滅危惧 II 類 NT：準絶滅危惧 DD：情報不足

注 3. 重要種の選定について

※1 ホンシウカヤネズミ *Micromys minutus japonicus* での指定。

※2 ホンドキツネ *Vulpes vulpes japonica* での指定。

※3 ニホンイタチ *Mustela itatsi* での指定。

出典：「枚方市ごみ処理施設 (仮称) 第 2 清掃工場建設計画に係る環境影響評価書」(平成 11 年、枚方市)

イ 鳥類

事業実施想定区域周辺において、鳥類は11目26科47種が確認されており、そのうち5目8科11種が重要種に該当した。鳥類の重要種一覧を表 2-2. 31に示す。

鳥類の重要種は、草地や耕作地で繁殖するケリ、ヒバリ、オオヨシキリ、セッカのほか、アマサギ、ノスリ、カシラダカ、オオジュリン等、草地やヨシ原、耕作地等を採餌場等として利用する種が多く含まれていた。そのほか、水面や水中で活動するカイツブリや、落葉広葉樹林に生息するセンダイムシクイ、人家周辺で繁殖するコシアカツバメも確認された。

表 2-2.31 事業実施想定区域周辺における鳥類の重要種一覧

No.	目名	科名	種名	選定基準							
				①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	
1	カイツブリ目	カイツブリ科	カイツブリ							準絶	
2	コウノトリ目	サギ科	アマサギ								VU
3	タカ目	タカ科	ノスリ							準絶	NT
4	チドリ目	チドリ科	ケリ					DD			NT
5	スズメ目	ヒバリ科	ヒバリ								NT
6		ツバメ科	コシアカツバメ								NT
7		ウグイス科	オオヨシキリ								NT
8			センダイムシクイ								NT
9			セッカ								NT
10		ホオジロ科	カシラダカ								NT
11			オオジュリン								NT
合計	5目	8科	11種	0種	0種	0種	0種	1種	2種	10種	

注 1. 種名及び種の配列は「河川水辺の国勢調査のための生物リスト 平成 28 年度版」に準拠した。

注 2. 重要種の選定基準

- ① 文化財保護法（昭和 25 年法律第 214 号）に基づく天然記念物に指定されている種
- ② 絶滅のおそれのある野生動植物の種の保存に関する法律（平成 4 年法律第 75 号）において希少野生動植物種に指定されている種
国内：国内希少野生動植物種 国際：国際希少野生動植物種
- ③ 京都府絶滅のおそれのある野生生物の保全に関する条例（平成 19 年京都府条例第 51 号）において指定希少野生生物に指定されている種
- ④ 京都府文化財保護条例（昭和 56 年京都府条例第 27 号）に基づく天然記念物に指定されている種
- ⑤ 「環境省レッドリスト 2015」（平成 27 年 9 月、環境省）において指定されている種
CR+EN：絶滅危惧 I 類、CR：絶滅危惧 II 類 EN：絶滅危惧 I B 類 VU：絶滅危惧 II 類
NT：準絶滅危惧 DD：情報不足
- ⑥ 「京都府レッドデータブック 2015」（平成 27 年、京都府）において指定されている種
絶滅：絶滅種 寸前：絶滅寸前種 危惧：絶滅危惧種 準絶：準絶滅危惧種 注目：要注目種
- ⑦ 「大阪府レッドリスト 2014」（平成 26 年、大阪府）において指定されている種
CR+EN：絶滅危惧 I 類 VU：絶滅危惧 II 類 NT：準絶滅危惧 DD：情報不足

出典：「枚方市ごみ処理施設（仮称）第 2 清掃工場建設計画に係る環境影響評価書」（平成 11 年、枚方市）

ウ 爬虫類

事業実施想定区域周辺において、爬虫類は 2 目 5 科 9 種が確認されており、そのうち 2 目 4 科 7 種が重要種に該当した。爬虫類の重要種一覧を表 2-2.32 に示す。

爬虫類の重要種は、ニホンイシガメ、クサガメといった河川等の水辺を中心に活動するカメ類や、ジムグリ、ヒバカリといった樹林等に生息するへび類が確認された。

表 2-2.32 事業実施想定区域周辺における爬虫類の重要種一覧

No.	目名	科名	種名	選定基準						
				①	②	③	④	⑤	⑥	⑦
1	カメ目	イシガメ科	ニホンイシガメ					NT	注目	NT
2			クサガメ						注目	
3	有鱗目	トカゲ科	ニホントカゲ						注目	
4			ナミヘビ科	アオダイショウ						注目
5		ジムグリ							注目	
6		ヒバカリ							注目	VU
7		クサリヘビ科	ニホンマムシ						注目	
合計	2目	4科	7種	0種	0種	0種	0種	1種	7種	2種

注 1. 種名及び種の配列は「河川水辺の国勢調査のための生物リスト 平成 28 年度版」に準拠した。

注 2. 重要種の選定基準

- ① 文化財保護法（昭和 25 年法律第 214 号）に基づく天然記念物に指定されている種
- ② 絶滅のおそれのある野生動植物の種の保存に関する法律（平成 4 年法律第 75 号）において希少野生動植物種に指定されている種
国内：国内希少野生動植物種 国際：国際希少野生動植物種
- ③ 京都府絶滅のおそれのある野生生物の保全に関する条例（平成 19 年京都府条例第 51 号）において指定希少野生生物に指定されている種
- ④ 京都府文化財保護条例（昭和 56 年京都府条例第 27 号）に基づく天然記念物に指定されている種
- ⑤ 「環境省レッドリスト 2015」（平成 27 年 9 月、環境省）において指定されている種
CR+EN：絶滅危惧 I 類、CR：絶滅危惧 II 類 EN：絶滅危惧 I B 類 VU：絶滅危惧 II 類
NT：準絶滅危惧 DD：情報不足
- ⑥ 「京都府レッドデータブック 2015」（平成 27 年、京都府）において指定されている種
絶滅：絶滅種 寸前：絶滅寸前種 危惧：絶滅危惧種 準絶：準絶滅危惧種 注目：要注目種
- ⑦ 「大阪府レッドリスト 2014」（平成 26 年、大阪府）において指定されている種
CR+EN：絶滅危惧 I 類 VU：絶滅危惧 II 類 NT：準絶滅危惧 DD：情報不足

出典：「枚方市ごみ処理施設（仮称）第 2 清掃工場建設計画に係る環境影響評価書」（平成 11 年、枚方市）

エ 両生類

事業実施想定区域周辺において、両生類は2目6科9種が確認されており、そのうち2目5科7種が重要種に該当した。両生類の重要種一覧を表 2-2. 33に示す。

両生類の重要種は、主に止水域に生息するアカハライモリや、水田等の水辺で活動するトノサマガエルやツチガエル、樹林や草地等を広く利用するニホンヒキガエルやニホンアカガエルなどが確認された。

表 2-2. 33 事業実施想定区域周辺における両生類の重要種一覧

No.	目名	科名	種名	選定基準						
				①	②	③	④	⑤	⑥	⑦
1	有尾目	イモリ科	アカハライモリ					NT	注目	NT
2	無尾目	ヒキガエル科	ニホンヒキガエル						準絶	VU
3		アカガエル科	ニホンアカガエル						注目	VU
4			トノサマガエル					NT	注目	NT
5			ツチガエル						注目	NT
6		ヌマガエル科	ヌマガエル						注目	
7		アオガエル科	シュレーゲルアオガエル						注目	NT
合計		2目	5科	7種	0種	0種	0種	0種	2種	7種

注1. 種名及び種の配列は「河川水辺の国勢調査のための生物リスト 平成28年度版」に準拠した。

注2. 重要種の選定基準

- ① 文化財保護法（昭和25年法律第214号）に基づく天然記念物に指定されている種
- ② 絶滅のおそれのある野生動植物の種の保存に関する法律（平成4年法律第75号）において希少野生動植物種に指定されている種
国内：国内希少野生動植物種 国際：国際希少野生動植物種
- ③ 京都府絶滅のおそれのある野生生物の保全に関する条例（平成19年京都府条例第51号）において指定希少野生生物に指定されている種
- ④ 京都府文化財保護条例（昭和56年京都府条例第27号）に基づく天然記念物に指定されている種
- ⑤ 「環境省レッドリスト2015」（平成27年9月、環境省）において指定されている種
CR+EN：絶滅危惧Ⅰ類、CR：絶滅危惧ⅠA類 EN：絶滅危惧ⅠB類 VU：絶滅危惧Ⅱ類
NT：準絶滅危惧 DD：情報不足
- ⑥ 「京都府レッドデータブック2015」（平成27年、京都府）において指定されている種
絶滅：絶滅種 寸前：絶滅寸前種 危惧：絶滅危惧種 準絶：準絶滅危惧種 注目：要注目種
- ⑦ 「大阪府レッドリスト2014」（平成26年、大阪府）において指定されている種
CR+EN：絶滅危惧Ⅰ類 VU：絶滅危惧Ⅱ類 NT：準絶滅危惧 DD：情報不足

出典：「枚方市ごみ処理施設（仮称）第2清掃工場建設計画に係る環境影響評価書」（平成11年、枚方市）

オ 昆虫類

事業実施想定区域周辺において、昆虫類は14目159科737種が確認されており、そのうち8目25科41種が重要種に該当した。昆虫類の重要種一覧を表 2-2. 34に示す。

昆虫類の重要種は、トンボ目が16種と最も多く、次いでコウチュウ目が8種、チョウ目が7種、バッタ目が4種等であった。トンボ目やヤスマツアメンボ、ミズスマシ、ゲンジボタルといった水辺環境との関わりが強い種のほか、ショウリョウバッタモドキ等の草原に生息する種、ミドリシジミやモンズメバチといった樹林に生息する種など、多様な環境を利用する種が確認された。

表 2-2.34 事業実施想定区域周辺における昆虫類の重要種一覧

No.	目名	科名	種名	選定基準							
				①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	
1	トンボ目 (蜻蛉目)	アオイトトンボ科	コバネアオイトトンボ					EN	危惧	CR+EN	
2			オツネイトンボ							準絶	NT
3		イトトンボ科	ホソミイトトンボ								NT
4			キイトトンボ								NT
5			モートシイトトンボ					NT	準絶	CR+EN	
6		ヤンマ科	カトリヤンマ							注目	NT
7			サラサヤンマ								NT
8		サナエトンボ科	フタスジサナエ					NT	注目	NT	
9			オグマサナエ					NT	注目	VU	
10		ムカシヤンマ科	ムカシヤンマ							準絶	NT
11		トンボ科	ヨツボシトンボ								NT
12			ナツアカネ								NT
13			アキアカネ								NT
14			ノシメトンボ								NT
15			マイコアカネ							注目	NT
16			ミヤマアカネ							準絶	NT
17	カマキリ目 (蟷螂目)		カマキリ科	チョウセンカマキリ						注目	
18	バッタ目 (直翅目)	クツワムシ科	クツワムシ							NT	
19			ケラ科	ケラ						注目	
20		バッタ科	クルマバッタ							注目	
21			ショウリョウバッタモドキ							注目	
22	カメムシ目 (半翅目)	セミ科	ハルゼミ							NT	
23		アメンボ科	ヤスマツアメンボ							NT	
24	チョウ目 (鱗翅目)	セセリチョウ科	ミヤマセセリ							NT	
25			ホソバセセリ								NT
26			ミヤマチャバネセセリ								CR+EN
27			オオチャバネセセリ								NT
28		シジミチョウ科	ミドリシジミ								NT
29		ツバメガ科	ギンツバメ							注目	
30		ヒトリガ科	ヤネホソバ					NT			
31		ハエ目 (双翅目)	ムシヒキアブ科	オオイシアブ						注目	
32	コウチュウ目 (鞘翅目)	ハンミョウ科	ハンミョウ							危惧	NT
33		ミズスマシ科	オオミズスマシ					NT	注目	VU	
34			ミズスマシ					VU	危惧	VU	
35		コガネムシ科	ドウガネブイブイ								NT
36		コメツクムシ科	コガタヒメサビキコリ							注目	
37		ホタル科	ゲンジボタル								注目
38			ヘイケボタル								注目
39		ゴミムシダマシ科	マルツヤニジゴミムシダマシ								注目
40		ハチ目 (膜翅目)	スズメバチ科	モンズズメバチ						DD	
41	アナバチ科		フジジガバチ						NT		
合計	8 目	25 科	41 種	0 種	0 種	0 種	0 種	9 種	22 種	29 種	

注 1. 種名及び種の配列は「河川水辺の国勢調査のための生物リスト 平成 28 年度版」に準拠した。

注 2. 重要種の選定基準

- ① 文化財保護法 (昭和 25 年法律第 214 号) に基づく天然記念物に指定されている種
 - ② 絶滅のおそれのある野生動植物の種の保存に関する法律 (平成 4 年法律第 75 号) において希少野生動植物種に指定されている種
国内：国内希少野生動植物種 国際：国際希少野生動植物種
 - ③ 京都府絶滅のおそれのある野生生物の保全に関する条例 (平成 19 年京都府条例第 51 号) において指定希少野生生物に指定されている種
 - ④ 京都府文化財保護条例 (昭和 56 年京都府条例第 27 号) に基づく天然記念物に指定されている種
 - ⑤ 「環境省レッドリスト 2015」 (平成 27 年 9 月、環境省) において指定されている種
CR+EN：絶滅危惧 I 類、CR：絶滅危惧 I A 類 EN：絶滅危惧 I B 類 VU：絶滅危惧 II 類
NT：準絶滅危惧 DD：情報不足
 - ⑥ 「京都府レッドデータブック 2015」 (平成 27 年、京都府) において指定されている種
絶滅：絶滅種 寸前：絶滅寸前種 危惧：絶滅危惧種 準絶滅危惧種 注目：要注目種
 - ⑦ 「大阪府レッドリスト 2014」 (平成 26 年、大阪府) において指定されている種
CR+EN：絶滅危惧 I 類 VU：絶滅危惧 II 類 NT：準絶滅危惧 DD：情報不足
- 出典：「枚方市ごみ処理施設 (仮称) 第 2 清掃工場建設計画に係る環境影響評価書」 (平成 11 年、枚方市)

カ 魚類

事業実施想定区域周辺において、魚類は3目4科6種が確認されており、そのうち1目1科1種が重要種に該当した。魚類の重要種一覧を表 2-2.35に示す。

魚類の重要種は、ミナミメダカの1種のみであった。ミナミメダカは、流れの緩い小川や水路を生息環境とし、水田等の里地周辺で見られる種である。

表 2-2.35 事業実施想定区域周辺における魚類の重要種一覧

No.	目名	科名	種名	選定基準						
				①	②	③	④	⑤	⑥	⑦
1	ダツ目	メダカ科	ミナミメダカ					VU	危惧	VU
合計	1目	1科	1種	0種	0種	0種	0種	1種	1種	1種

注1. 種名及び種の配列は「河川水辺の国勢調査のための生物リスト 平成28年度版」に準拠した。

注2. 重要種の選定基準

① 文化財保護法（昭和25年法律第214号）に基づく天然記念物に指定されている種

② 絶滅のおそれのある野生動植物の種の保存に関する法律（平成4年法律第75号）において希少野生動植物種に指定されている種

国内：国内希少野生動植物種 国際：国際希少野生動植物種

③ 京都府絶滅のおそれのある野生動物の保全に関する条例（平成19年京都府条例第51号）において指定希少野生動物に指定されている種

④ 京都府文化財保護条例（昭和56年京都府条例第27号）に基づく天然記念物に指定されている種

⑤ 「環境省レッドリスト2015」（平成27年9月、環境省）において指定されている種

CR+EN：絶滅危惧Ⅰ類、CR：絶滅危惧ⅠA類 EN：絶滅危惧ⅠB類 VU：絶滅危惧Ⅱ類

NT：準絶滅危惧 DD：情報不足

⑥ 「京都府レッドデータブック2015」（平成27年、京都府）において指定されている種

絶滅：絶滅種 寸前：絶滅寸前種 危惧：絶滅危惧種 準絶：準絶滅危惧種 注目：要注目種

⑦ 「大阪府レッドリスト2014」（平成26年、大阪府）において指定されている種

CR+EN：絶滅危惧Ⅰ類 VU：絶滅危惧Ⅱ類 NT：準絶滅危惧 DD：情報不足

出典：「枚方市ごみ処理施設（仮称）第2清掃工場建設計画に係る環境影響評価書」（平成11年、枚方市）

キ 底生動物

事業実施想定区域周辺において、底生動物は6綱17目37科46種が確認されており、そのうち2綱2目3科3種が重要種に該当した。底生動物の重要種一覧を表 2-2.36に示す。

底生動物の重要種は、ヌマエビ、コガタシマトビケラ、コカクツツトビケラの3種で、いずれも京都府レッドデータブックの掲載種であった。ヌマエビは、水田や川のよどみで確認されている。コガタシマトビケラ及びコカクツツトビケラは河川に生息する種である。

表 2-2.36 事業実施想定区域周辺における底生動物の重要種一覧

No.	綱名	目名	科名	種名	選定基準							
					①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	
1	軟甲綱	エビ目	ヌマエビ科	ヌマエビ							危惧	
2	昆虫綱	トビケラ目	シマトビケラ科	コガタシマトビケラ							注目	
3		(毛翅目)	カクツツトビケラ科	コカクツツトビケラ							注目	
合計	2綱	2目	3科	3種	0種	0種	0種	0種	0種	0種	3種	0種

注1. 種名及び種の配列は「河川水辺の国勢調査のための生物リスト 平成28年度版」に準拠した。

注2. 重要種の選定基準

① 文化財保護法（昭和25年法律第214号）に基づく天然記念物に指定されている種

② 絶滅のおそれのある野生動植物の種の保存に関する法律（平成4年法律第75号）において希少野生動植物種に指定されている種

国内：国内希少野生動植物種 国際：国際希少野生動植物種

③ 京都府絶滅のおそれのある野生動物の保全に関する条例（平成19年京都府条例第51号）において指定希少野生動物に指定されている種

④ 京都府文化財保護条例（昭和56年京都府条例第27号）に基づく天然記念物に指定されている種

⑤ 「環境省レッドリスト2015」（平成27年9月、環境省）において指定されている種

CR+EN：絶滅危惧Ⅰ類、CR：絶滅危惧ⅠA類 EN：絶滅危惧ⅠB類 VU：絶滅危惧Ⅱ類

NT：準絶滅危惧 DD：情報不足

⑥ 「京都府レッドデータブック2015」（平成27年、京都府）において指定されている種

絶滅：絶滅種 寸前：絶滅寸前種 危惧：絶滅危惧種 準絶：準絶滅危惧種 注目：要注目種

⑦ 「大阪府レッドリスト2014」（平成26年、大阪府）において指定されている種

CR+EN：絶滅危惧Ⅰ類 VU：絶滅危惧Ⅱ類 NT：準絶滅危惧 DD：情報不足

出典：「枚方市ごみ処理施設（仮称）第2清掃工場建設計画に係る環境影響評価書」（平成11年、枚方市）

2) 植物

① 調査地域に生育する可能性のある重要種

「京都府レッドデータブック2015」(平成27年、京都府)における植物の分布状況を整理し、調査地域に生息する可能性のある重要種を抽出した。

京都府レッドデータブック2015の記載種のうち、府内の分布区域に、「京田辺市」「山城地域」「木津川(淀川水系)」「南部地域」「府内全域」との記載があるものを抽出した。ただし、「府内全域」等の記載があっても、「局地的」や「ブナ林に生育する」等の説明があり、調査地域における生育情報としては不適切と考えられる種は除外した。なお、大阪府レッドリスト2014からは、掲載種の生育する地域についての情報が得られなかったため、文献の対象としなかった。

調査地域に生育する可能性のある重要種一覧(植物)を表 2-2. 37(1)~(6)に示す。

植物は284種の重要種が確認された。大半は府内の分布区域として「山城地域」が挙げられている種であり、コバノカナワラビなどの林床性のシダ植物や、サンショウモ、マルバノサワトウガラシといった水田雑草として知られる種、ヒメクロモジやクロウメモドキといった低木種など、さまざまな種群が含まれていた。

京田辺市での生育情報が記載されている種として、ミカワシンジュガヤ、ウンヌケモドキといった湿地性の草本種が挙げられる。また、京都府の指定希少野生生物として、レンリソウ、フナバラソウの2種が記録されている。

なお、「京都府レッドデータブック2015」では、これらの維管束植物以外の重要種として、コケ植物のウキゴケ、ホソベリミズゴケ、オオカサゴケ、マツムラゴケ、ミヤマハイゴケ、イチョウウキゴケ、オオミズゴケ及び菌類のコトヒラシロテングタケが記載されている。

表 2-2. 37(1) 重要種一覧(植物)

No.	科名	種名	文献資料	選定基準						
				①	②	③	④	⑤	⑥	⑦
1	ヒカゲノカズラ科	マンネンスギ	1						危惧	
2		オニトウゲシバ	1						注目	
3	イワヒバ科	ヒメクラマゴケ	1						危惧	
4		タチクラマゴケ	1						注目	
5	ミズニラ科	ミズニラ	1					NT	寸前	CR+EN
6	ハナヤスリ科	アカハナワラビ	1						危惧	CR+EN
7		コヒロハハナヤスリ	1						危惧	
8	ゼンマイ科	ヤマドリゼンマイ	1						注目	
9	ミズワラビ科	ハコネシダ	1						危惧	
10		ミズワラビ	1						注目	NT
11	イノモトソウ科	アマクサシダ	1						危惧	
12		マツザカシダ	1						準絶	
13	チャセンシダ科	シモツケヌリトラノオ	1						注目	
14		カミガモシダ	1						準絶	
15		トキワトラノオ	1						危惧	
16		イヌチャセンシダ	1						準絶	
17		アオガネシダ	1						寸前	
18		クルマシダ	1						危惧	
19	シシガシラ科	コモチシダ	1						注目	
20	オンシダ科	ホソバナライシダ	1						注目	
21		ミヤコカナワラビ	1						準絶	
22		コバノカナワラビ	1						注目	
23		ヤブソテツモドキ	1						注目	
24		ナガバノイタチシダ	1						注目	
25	ヒメシダ科	アオハリガネワラビ	1						注目	
26	メシダ科	サキモリイヌワラビ	1						注目	
27		ルリデライヌワラビ	1						準絶	
28		ハコネシケチシダ	1						寸前	VU

表 2-2. 37(2) 重要種一覧 (植物)

No.	科名	種名	文献資料	選定基準						
				①	②	③	④	⑤	⑥	⑦
29	メシダ科	コウライイヌワラビモドキ	1						寸前	
30		ナチシケンダ	1						注目	
31		フモトシケンダ	1						危惧	
32		オオヒメワラビモドキ	1						準絶	
33		ヒカゲワラビ	1						寸前	
34		ウスバミヤマノコギリシダ	1						危惧	
35		タンゴワラビ	1						注目	
36		ウラボシ科	ヤノネシダ	1						準絶
37	アオネカズラ		1						寸前	NT
38	ピロードシダ		1						危惧	
39	デンジソウ科	デンジソウ	1					VU	寸前	CR+EN
40	サンショウモ科	サンショウモ	1					VU	寸前	CR+EN
41	アカウキクサ科	アカウキクサ	1					EN	寸前	EX
42		オオアカウキクサ	1					EN	寸前	EX
43	カバノキ科	サクラバハハノキ	1					NT	危惧	
44	イラクサ科	キミズ	1						準絶	NT
45		ミヤコミズ	1						危惧	VU
46		ホソバイラクサ	1							注目
47	ビャクダン科	カナビキソウ	1						準絶	
48	ヤドリギ科	ヒノキバヤドリギ	1						危惧	
49		マツグミ	1						準絶	
50		ヤドリギ	1						危惧	
51	タデ科	サイコクヌカボ	1					VU	寸前	CR+EN
52		サデクサ	1						準絶	NT
53		オオネバリタデ	1						危惧	
54		ヌカボタデ	1					VU	寸前	VU
55		ネバリタデ	1						危惧	
56	ナデシコ科	ヤマハコベ	1						危惧	
57	ヒユ科	ヤナギイノコズチ	1						寸前	NT
58	マツブサ科	マツブサ	1						準絶	
59	クスノキ科	ヒメクロモジ	1						注目	
60	キンボウゲ科	イブキトリカブト	1						注目	
61		ユキワリイチゲ	1						準絶	NT
62		エンコウソウ	1						寸前	EX
63		トウゴクサバノオ	1						準絶	
64	ツヅラフジ科	コウモリカズラ	1						準絶	
65	スイレン科	ヒツジグサ	1						危惧	NT
66	ウマノスズクサ科	ウマノスズクサ	1						準絶	
67		ヒメカンアオイ	1						危惧	CR+EN
68	オトギリソウ科	トモエソウ	1						寸前	CR+EN
69		ミズオトギリ	1						準絶	NT
70	モウセンゴケ科	イシモチソウ	1					NT	寸前	VU
71		コモウセンゴケ	1						寸前	NT
72		トウカイコモウセンゴケ	1						寸前	
73	ケシ科	キケマン	1						準絶	
74	アブラナ科	ミズタガラシ	1						準絶	VU
75		コイヌガラシ	1					NT	危惧	NT
76	ベンケイソウ科	キリンソウ	1						準絶	
77	ユキノシタ科	イワボタン	1						準絶	
78		オオチャルメルソウ	1						危惧	
79		ウメバチソウ	1						危惧	VU
80		タコノアシ	1					NT	寸前	NT
81		ジンジソウ	1						準絶	
82	バラ科	カワラサイコ	1						危惧	EX
83		ヤマイバラ	1						準絶	
84		ユキヤナギ	1						注目	VU
85	マメ科	タヌキマメ	1						危惧	VU
86		マルバヌスビトハギ	1						準絶	
87		ニワフジ	1						注目	

表 2-2. 37(3) 重要種一覧 (植物)

No.	科名	種名	文献資料	選定基準						
				①	②	③	④	⑤	⑥	⑦
88	マメ科	レンリソウ	1			希少			寸前	
89		カラメドハギ	1						注目	
90		イヌハギ	1					VU	寸前	CR+EN
91		マキエハギ	1						危惧	CR+EN
92		ツルフジバカマ	1						寸前	VU
93		オオバクサフジ	1						寸前	VU
94	トウダイグサ科	ヒトツバハギ	1						危惧	
95	ミカン科	フユザンショウ	1						注目	
96	クロウメモドキ科	クロウメモドキ	1						準絶	
97	シナノキ科	カラスノゴマ	1						危惧	
98	ジンチョウゲ科	コガンピ	1						準絶	
99	グミ科	カツラギグミ	1					EN	危惧	VU
100	スマレ科	フモトスマレ	1						準絶	
101	ミゾハコベ科	イヌミゾハコベ	1						準絶	
102	ウリ科	キカラスウリ	1						注目	
103	ミソハギ科	ヒメミソハギ	1						危惧	NT
104		ミズマツバ	1					VU	危惧	NT
105	ヒシ科	ヒメビシ	1					VU	寸前	EX
106		オニビシ	1						危惧	
107	アカバナ科	ミズユキノシタ	1						注目	
108	アリノトウグサ科	オグラノフサモ	1					VU	寸前	CR+EN
109		フサモ	1						寸前	CR+EN
110	ウコギ科	ミヤマウコギ	1						準絶	
111	セリ科	ドクゼリ	1						準絶	VU
112	イチヤクソウ科	ウメガサソウ	1						危惧	NT
113		シャクジョウソウ	1						危惧	NT
114	ツツジ科	サラサドウダン	1						準絶	
115		サツキ	1						危惧	
116		レンゲツツジ	1						準絶	
117		ヤブコウジ科	カラタチバナ	1						寸前
118	サクランソウ科	ミヤマタゴボウ	1						準絶	
119	カキノキ科	リュウキュウマメガキ	1						準絶	
120	マチン科	アイナエ	1						寸前	CR+EN
121	リンドウ科	リンドウ	1						注目	
122		フデリンドウ	1						危惧	
123		イヌセンブリ	1					VU	危惧	VU
124		センブリ	1						注目	
125	ミツガシロ科	アサザ	1					NT	危惧	DD
126	キョウチクトウ科	チョウジソウ	1					NT	寸前	CR+EN
127		ケテイカカズラ	1						準絶	
128	ガガイモ科	フナバラソウ	1			希少		VU	寸前	CR+EN
129		タチカモメヅル	1						準絶	VU
130		スズサイコ	1					NT	危惧	VU
131		コバノカモメヅル	1						危惧	VU
132	アカネ科	イナモリソウ	1						寸前	NT
133		カギカズラ	1						危惧	
134	ヒルガオ科	ハマヒルガオ	1						寸前	
135	クマツヅラ科	コムラサキ	1						寸前	VU
136		カリガネソウ	1						準絶	
137	シソ科	カワミドリ	1						準絶	NT
138		エゾシロネ	1						危惧	
139		ハッカ	1						準絶	
140		ミゾコウジュ	1					NT	準絶	NT
141		ホクリクタツナミソウ	1						準絶	DD
142		イガタツナミソウ	1						準絶	
143		ゴマノハグサ科	マルバノサワトウガラシ	1					VU	寸前
144	サワトウガラシ		1						危惧	
145	キクガラクサ		1					NT	危惧	
146	クチナシグサ		1						危惧	

表 2-2. 37(4) 重要種一覧 (植物)

No.	科名	種名	文献資料	選定基準							
				①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	
147	ゴマノハグサ科	コシオガマ	1						準絶		
148		オオヒキヨモギ	1					VU	準絶	NT	
149		イヌノフグリ	1					VU	危惧		
150		カワヂシャ	1					NT	準絶	NT	
151	キツネノマゴ科	オギノツメ	1						準絶		
152	ハマツボ科	ナンバンギセル	1						注目		
153	タヌキモ科	ノタヌキモ	1					VU	危惧		
154		イスタヌキモ	1					NT	危惧	NT	
155		ミミカキグサ	1						準絶		
156		ホザキノミミカキグサ	1						準絶		
157		ミカワタヌキモ	1					VU	寸前		
158		タヌキモ	1					NT	寸前	CR+EN	
159		ヒメタヌキモ	1					NT	寸前	CR+EN	
160		ムラサキミミカキグサ	1					NT	寸前	CR+EN	
161		オミナエシ科	オミナエシ	1						準絶	NT
162		キキョウ科	ヤマホタルブクロ	1						危惧	
163	サワギキョウ		1						準絶	NT	
164	キク科	サワシロギク	1						準絶	CR+EN	
165		シマカンギク	1						危惧		
166		キクタニギク	1					NT	危惧		
167		ミツバヒヨドリバナ	1						注目		
168		スイラン	1						危惧	NT	
169		オグルマ	1						危惧	CR+EN	
170		ノニガナ	1						寸前		
171		オモダカ科	ヘラオモダカ	1						準絶	
172	アギナシ		1					NT	危惧	CR+EN	
173	ウリカワ		1						準絶		
174	トチカガミ科	マルミスブタ	1					VU	寸前	CR+EN	
175		スブタ	1					VU	寸前	CR+EN	
176		ヤナギスブタ	1						危惧	CR+EN	
177		クロモ	1						注目		
178		ミズオオバコ	1					VU	危惧	NT	
179		セキシウモ	1						危惧	EX	
180	ヒルムシロ科	イトモ	1					NT	寸前	CR+EN	
181	イバラモ科	サガミトリゲモ	1					VU	寸前	CR+EN	
182		イトトリゲモ	1					NT	寸前	VU	
183		イバラモ	1						寸前	EX	
184		オオトリゲモ	1						寸前	CR+EN	
185	ユリ科	シライトソウ	1						準絶		
186		ノカンゾウ	1						危惧	VU	
187		ミズギボウシ	1						危惧	VU	
188	ヒガンバナ科	オオキツネノカミソリ	1						注目		
189		ナツズイセン	1						準絶		
190	ミズアオイ科	ミズアオイ	1					NT	寸前	CR+EN	
191	アヤメ科	ノハナショウブ	1						準絶	CR+EN	
192		カキツバタ	1					NT	準絶	DD	
193	イグサ科	ハナビゼキショウ	1						準絶		
194		ヒロハノコウガイゼキショウ	1						寸前		
195		タマコウガイゼキショウ	1						寸前		
196		ハリコウガイゼキショウ	1						準絶		
197	ホシクサ科	ホシクサ	1						注目	CR+EN	
198	イネ科	ヒメコヌカグサ	1					NT	準絶	CR+EN	
199		ヤマアワ	1						危惧		
200		オガルカヤ	1						準絶		
201		スズメガヤ	1						準絶		
202		オオニワホコリ	1						準絶		
203		ナルコビエ	1						危惧		
204		ウンヌケモドキ	1					NT	寸前	VU	
205		ムツオレグサ	1						準絶		

表 2-2. 37(5) 重要種一覧 (植物)

No.	科名	種名	文献資料	選定基準								
				①	②	③	④	⑤	⑥	⑦		
206	イネ科	ウシノシッペイ	1							準絶		
207		コウボウ	1								危惧	
208		アシカキ	1								準絶	
209		エゾノサヤヌカグサ	1								危惧	
210		ミノボロ	1								準絶	VU
211		トキワススキ	1								注目	
212		ヌマガヤ	1								危惧	
213		ウシクサ	1								準絶	VU
214		メガルカヤ	1								注目	
215		シバ	1								注目	
216		サトイモ科	キシダマムシグサ	1							危惧	
217	ウラシマソウ		1								準絶	
218	ウキクサ科	コウキクサ	1							準絶		
219	ミクリ科	ヤマトミクリ	1					NT		危惧	VU	
220		ナガエミクリ	1					NT		寸前	VU	
221	ガマ科	コガマ	1							危惧	NT	
222	カヤツリグサ科	ウキヤガラ	1							準絶		
223		イトハナビテンツキ	1								危惧	
224		ミノボロスゲ	1								危惧	
225		ホザキマスキサ	1						VU		危惧	
226		エナシヒゴクサ	1								寸前	
227		マツバスゲ	1								注目	
228		ハリガネスゲ	1								危惧	
229		オニスゲ	1								準絶	
230		イトスゲ	1								危惧	
231		タニガワスゲ	1								準絶	
232		ヤマアゼスゲ	1								準絶	
233		ヤガミスゲ	1								準絶	NT
234		ミコシガヤ	1								準絶	NT
235		ヤチカワズスゲ	1								寸前	
236		ヒメゴウソ (広義)	1								準絶	
237		ヤブスゲ	1								危惧	
238		サトヤマハリスゲ	1								危惧	CR+EN
239		イヌクグ	1								準絶	
240		ツルナシコアゼガヤツリ	1								注目	
241		オオシロガヤツリ	1								注目	NT
242		シロガヤツリ	1								準絶	DD
243		シカクイ	1								準絶	
244		ノテンツキ	1								準絶	
245		ヒンジガヤツリ	1								準絶	
246		イヌノハナヒゲ	1								準絶	
247		コイヌノハナヒゲ	1								寸前	
248		イガクサ	1								危惧	CR+EN
249		フトイ	1								危惧	VU
250		サンカクイ	1								注目	
251		コマツカサススキ	1								危惧	NT
252		マツカサススキ	1								危惧	VU
253		ミカワシンジュガヤ	1						VU		寸前	CR+EN
254		コシンジュガヤ	1								寸前	VU
255		ケシンジュガヤ	1								寸前	EX
256	マネキシンジュガヤ	1								寸前		
257	ラン科	シラン	1					NT		寸前	CR+EN	
258		マメツタラン	1					NT		危惧	CR+EN	
259		エビネ	1					NT		注目	NT	
260		ギンラン	1								危惧	VU
261		キンラン	1					VU			危惧	VU
262		クマガイソウ	1						VU		寸前	CR+EN
263		セッコク	1								危惧	CR+EN
264		カキラン	1								準絶	

表 2-2. 37(6) 重要種一覧 (植物)

No.	科名	種名	文献資料	選定基準						
				①	②	③	④	⑤	⑥	⑦
265	ラン科	タシロラン	1					NT	注目	
266		ツチアケビ	1						準絶	
267		オニノヤガラ	1						準絶	
268		クロヤツシロラン	1						危惧	NT
269		アキザキヤツシロラン	1						注目	
270		アケボノシュスラン	1						準絶	
271		サギソウ	1					NT	寸前	VU
272		ミズトンボ	1					VU	危惧	CR+EN
273		ムヨウラン	1						寸前	NT
274		クロムヨウラン	1						寸前	NT
275		ジガバチソウ	1						危惧	CR+EN
276		コ克蘭	1						注目	
277		フウラン	1					VU	寸前	CR+EN
278		ムカゴサイシン	1					EN	寸前	CR+EN
279		ジンバイソウ	1						危惧	
280		コバノトンボソウ	1						危惧	CR+EN
281		トキシソウ	1					NT	危惧	CR+EN
282		ヤマトキシソウ	1						寸前	CR+EN
283		カヤラン	1						準絶	
284		クモラン	1						寸前	CR+EN
合計	90 科	284 種	-	0 種	0 種	2 種	0 種	60 種	284 種	123 種

注 1. 種名及び種の配列は「河川水辺の国勢調査のための生物リスト 平成 28 年度版」に準拠した。

注 2. 重要種の選定基準

- ① 文化財保護法 (昭和 25 年法律第 214 号) に基づく天然記念物に指定されている種
 - ② 絶滅のおそれのある野生動植物の種の保存に関する法律 (平成 4 年法律第 75 号) において希少野生動植物種に指定されている種
国内：国内希少野生動植物種 国際：国際希少野生動植物種
 - ③ 京都府絶滅のおそれのある野生生物の保全に関する条例 (平成 19 年京都府条例第 51 号) において指定希少野生生物に指定されている種
 - ④ 京都府文化財保護条例 (昭和 56 年京都府条例第 27 号) に基づく天然記念物に指定されている種
 - ⑤ 「環境省レッドリスト 2015」 (平成 27 年 9 月、環境省) において指定されている種
CR+EN：絶滅危惧 I 類、CR：絶滅危惧 I A 類 EN：絶滅危惧 I B 類 VU：絶滅危惧 II 類
NT：準絶滅危惧 DD：情報不足
 - ⑥ 「京都府レッドデータブック 2015」 (平成 27 年、京都府) において指定されている種
絶滅：絶滅種 寸前：絶滅寸前種 危惧：絶滅危惧種 準絶：準絶滅危惧種 注目：要注目種
 - ⑦ 「大阪府レッドリスト 2014」 (平成 26 年、大阪府) において指定されている種
CR+EN：絶滅危惧 I 類 VU：絶滅危惧 II 類 NT：準絶滅危惧 DD：情報不足
- 文献資料 1：「京都府レッドデータブック 2015」 (平成 27 年、京都府)

② 事業実施想定区域周辺で確認されている植物の生育状況

事業実施想定区域周辺（枚方市大字尊延寺）において、枚方市東部清掃工場の建設計画に当たり、平成5年及び平成10～11年にかけて動植物調査（環境影響評価）が実施されている。この調査結果から確認種及び重要種の情報を整理した。

事業実施想定区域周辺における植物相の現地調査の概要を表 2-2. 38に示す。

表 2-2. 38 事業実施想定区域周辺における現地調査の概要（植物相）

項目	調査時期	調査方法
植物種 （存在種）	平成5年 3月25日～27日 平成5年 4月26日～28日 平成5年 5月20日～21日 平成5年 7月22日～23日 平成5年 9月29日～10月2日 平成5年 11月9日	事業実施想定区域及びその周辺地域のルート調査
植物種 （補足調査）	平成10年 8月4日～5日 平成10年 10月8日～9日 平成10年 11月17日～18日 平成11年 3月29日～30日 平成11年 4月27日～28日 平成11年 5月26日	事業実施想定区域及びその周辺地域の特記すべき種

出典：「枚方市ごみ処理施設（仮称）第2清掃工場建設計画に係る環境影響評価書」（平成11年、枚方市）

事業実施想定区域周辺において、植物は104科398種記録されており、そのうち17科25種が重要種に該当した。植物の重要種一覧を表 2-2. 39に示す。

植物の重要種は、草本が大半を占め、水生植物のコウホネ、ヒツジグサ、フサモ、コウキクサ、湿生植物のモウセンゴケ、カワヂシャ、フトイ、草原に生育するカナビキソウ、フデリンドウなど、比較的開けた環境に生育する種が大半を占めた。そのほか、クロヤツシロラン、コ克蘭など、樹林に生育するラン科植物も確認された。

表 2-2.39 事業実施想定区域周辺の重要種（植物）

No.	科名	和名	選定基準							
			①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	
1	ハナヤスリ科	コヒロハハナヤスリ							危惧	
2	ビャクダン科	カナビキソウ							準絶	
3	スイレン科	コウホネ								VU
4		ヒツジグサ							危惧	NT
5	モウセンゴケ科	モウセンゴケ								NT
6	マメ科	カワラケツメイ								NT
7	ジンチョウゲ科	コガンピ							準絶	
8	アリノトウグサ科	フサモ							寸前	CR+EN
9	リンドウ科	リンドウ							注目	
10		フデリンドウ							危惧	
11	ゴマノハグサ科	カワヂシャ						NT	準絶	NT
12	タヌキモ科	タヌキモ						NT	寸前	CR+EN
13	キキョウ科	キキョウ						VU	寸前	VU
14	ユリ科	ヤマカシュウ							準絶	NT
15	イグサ科	ハリコウガイゼキショウ							準絶	
16	イネ科	ヤマアワ							危惧	
17		アシカキ							準絶	
18		メガルカヤ							注目	
19	ウキクサ科	コウキクサ							準絶	
20	カヤツリグサ科	シカクイ							準絶	
21		ノテンツキ							準絶	
22		フトイ							危惧	VU
23	ラン科	ギンラン							危惧	VU
24		クロヤツシロラン							危惧	NT
25		コ克蘭							注目	
合計	17科	25種	0種	0種	0種	0種	3種	22種	12種	

注 1. 種名及び種の配列は「河川水辺の国勢調査のための生物リスト 平成 28 年度版」に準拠した。

注 2. 重要種の選定基準

① 文化財保護法（昭和 25 年法律第 214 号）に基づく天然記念物に指定されている種

② 絶滅のおそれのある野生動植物の種の保存に関する法律（平成 4 年法律第 75 号）において希少野生動植物種に指定されている種

国内：国内希少野生動植物種 国際：国際希少野生動植物種

③ 京都府絶滅のおそれのある野生生物の保全に関する条例（平成 19 年京都府条例第 51 号）において指定希少野生生物に指定されている種

④ 京都府文化財保護条例（昭和 56 年京都府条例第 27 号）に基づく天然記念物に指定されている種

⑤ 「環境省レッドリスト 2015」（平成 27 年 9 月、環境省）において指定されている種

CR+EN：絶滅危惧 I 類、CR：絶滅危惧 I A 類 EN：絶滅危惧 I B 類 VU：絶滅危惧 II 類

NT：準絶滅危惧 DD：情報不足

⑥ 「京都府レッドデータブック 2015」（平成 27 年、京都府）において指定されている種

絶滅：絶滅種 寸前：絶滅寸前種 危惧：絶滅危惧種 準絶：準絶滅危惧種 注目：要注目種

⑦ 「大阪府レッドリスト 2014」（平成 26 年、大阪府）において指定されている種

CR+EN：絶滅危惧 I 類 VU：絶滅危惧 II 類 NT：準絶滅危惧 DD：情報不足

出典：「枚方市ごみ処理施設（仮称）第 2 清掃工場建設計画に係る環境影響評価書」（平成 11 年、枚方市）

③ 植生

調査地域の現存植生図を図 2-2. 13に示す。

調査地域は、木津川及び淀川の流域に形成された平野部に成立した市街地や耕作地と、大阪府と京都府の府境に当たる丘陵地に残存する山林が接する地域となっている。「第6回自然環境保全基礎調査（現存植生図）」（平成11年～平成24年、環境省）によると、調査地域の植生は、平地の市街地や水田と丘陵地の樹林がモザイク状に分布しており、丘陵地の一部はゴルフ場、公園等として利用されている。丘陵地では、落葉広葉樹林のアベマキ-コナラ群集が優占するが、山裾を中心に竹林が広く分布している。そのほか、部分的にモチツツジ-アカマツ群集やスギ・ヒノキ・サワラ植林がみられる。

④ 植物群落

調査地域の重要な植物群落一覧を表 2-2. 40に、重要な植物群落を図 2-2. 14に示す。

「第2回自然環境保全基礎調査（特定植物群落調査）」（昭和54年、環境庁）によると、特定植物群落として、枚方市の「菅原神社のシイ林」と京田辺市の「木津川河川敷のツルヨシ、セイコノヨシ群落」が挙げられる。調査地域の西側に位置する「菅原神社のシイ林」は、暖温帯常緑広葉高木林に区分され、郷土景観を代表する植物群落として指定されている。調査地域の東側に位置する「木津川河川敷のツルヨシ、セイコノヨシ群落」は、河辺植生に区分され、特殊な立地に特有な植物群落として指定されている。また、京都府レッドデータブック2015において地域生態系として指定されたコナラ群落及びアカマツ群落（表 2-2. 42参照）は、京田辺市多々羅に分布しており、「管理維持」として指定されている。

表 2-2. 40 調査地域の重要な植物群落一覧

番号	群落名	所在地	文献
1	菅原神社のシイ林	枚方市	①
2	木津川河川敷のツルヨシ、セイコノヨシ群落	京田辺市	①
-	コナラ群落	京田辺市多々羅	②、③
-	アカマツ群落	京田辺市多々羅	②、③

注. 番号は、図 2-2. 14 に対応している。

出典：①「第2回自然環境保全基礎調査（特定植物群落調査）」（昭和54年、環境庁）

：②「京都府自然環境目録2015」（平成27年、京都府）

：③「京都府レッドデータブック2015」（平成27年、京都府）

⑤ 巨樹・巨木林

調査地域の巨樹・巨木林一覧を表 2-2. 41に、巨樹・巨木林位置図を図 2-2. 15に示す。ケヤキやモチノキなどが京田辺市に分布している。

表 2-2. 41 調査地域の巨樹・巨木林一覧

番号	種名	幹周 (cm)	樹高 (m)	地名	市
1	ケヤキ	335	34	田辺棚倉孫神社	京田辺市
2	ケヤキ	302	21	多々羅	京田辺市
3	モチノキ	303	27	天王朱智神社	京田辺市

注. 番号は、図 2-2. 15 に対応している。

出典：「第4回自然環境保全基礎調査（巨樹・巨木林調査）」（平成2年、環境庁）

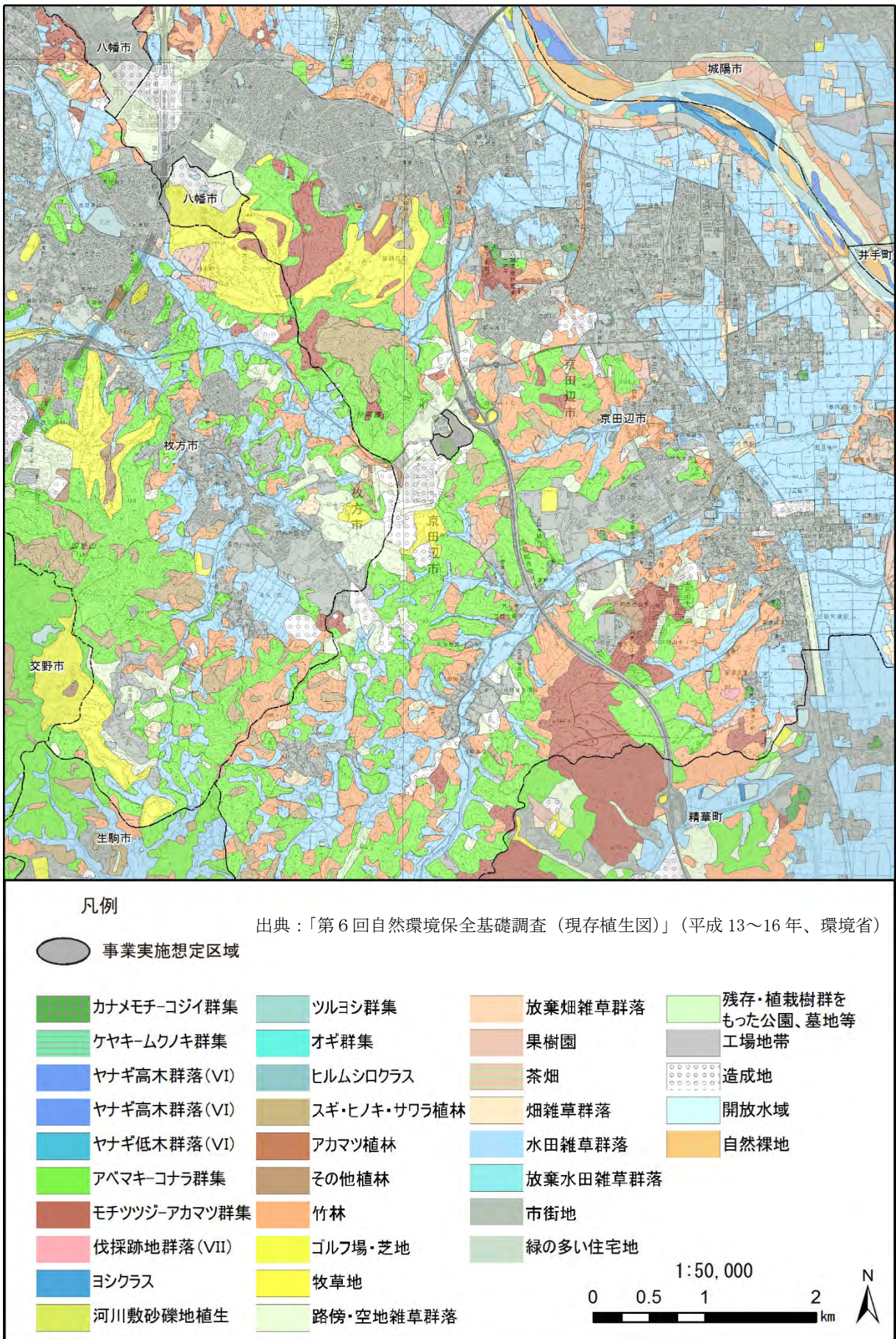


図 2-2.13 現存植生図



図 2-2.14 重要な植物群落位置図



図 2-2.15 巨樹・巨木林位置図

3) 生態系

① 生態系の概要

調査地域は、日本の気候区分によると瀬戸内気候区に属しており、潜在植生はヤブツバキクラス域の常緑広葉樹林である。しかし、現存植生図では、大半が代償植生となっており、落葉広葉樹二次林であるアベマキ-コナラ群集や、モウソウチク等が優占する竹林及び公園等、人為的な影響を受けた植生が分布している。また、水田、小規模なため池等の水域も広くみられることから、代償植生及び水辺環境を基盤とした里地・里山の生態系と考えられる。

樹林は、優占するコナラ、アベマキといった高木性の落葉広葉樹のほか、シロダモ、ヒサカキといった低木種や、ヤマイタチシダ、ナキリスゲ、コ克蘭といった草本種が分布している。また、水田やため池等の周辺の湿地や草地では、ヨシやススキなどの大型草本、ツリガネニンジン、ノアザミ、セリ、フトイといった多様な草本種が生育している。

これらの植生を基盤として、哺乳類のアカネズミ、カヤネズミ、鳥類のホオジロ、カワラヒワ、両生類のニホンアマガエルやトノサマガエル、昆虫類のショウリョウバッタやヤマトシジミ、魚類のカワムツやミナミメダカといった小動物が生息する。さらに、それらの動物を捕食する中型哺乳類のキツネや、鳥類のアオサギ、サシバ等が生態系の上位種として位置づけられる。

② 重要な生態系

調査地域の重要な生態系一覧を表 2-2.42 に示す。このうち、京田辺多々羅のコナラ群落及びアカマツ群落は京都府レッドデータブック2015、穂谷・尊延寺及び淀川ワンド群は大阪府レッドリスト2014で選定されている重要な生態系である。

表 2-2.42 重要な生態系一覧

名称	群落名	地点名	所在地	京都府 RDB	大阪府 RL
暖温帯落葉広葉樹林	コナラ群落	多々羅	京田辺市多々羅	管理維持	
温帯針葉樹林	アカマツ群落	多々羅	京田辺市多々羅	管理維持	
穂谷・尊延寺	-	-	枚方市		A ランク
淀川ワンド群 (城北・庭窪・楠葉など)	-	-	大阪市・守口市・寝屋川市・枚方市・高槻市		A ランク

注 1. 京都府 RDB：「京都府レッドデータブック 2015」（平成 27 年、京都府）掲載種
要特別対策、要保全対策、管理維持

注 2. 大阪府 RL：「大阪府レッドリスト 2014」（平成 26 年、大阪府）掲載種

A ランク：多様な生物種群の絶滅危惧種にととの生存基盤となっている重要な生息地

B ランク：A ランクに準ずる生息地

C ランク：一部の絶滅危惧種に限られるが、その生存基盤となっている生息地

注 3. 所在地は、出典に記載されているものであり、調査地域外の地名も含む。

出典：「京都府自然環境目録 2015」（平成 27 年、京都府）

：「大阪府レッドリスト 2014」（平成 26 年、大阪府）

：「京都府レッドデータブック 2015」（平成 27 年、京都府）

(6) 景観及び人と自然との触れ合いの活動の状況

1) 景観の状況

調査地域の主要な眺望点一覧を表 2-2.43に、景観資源一覧を表 2-2.44に、主要な眺望点及び景観資源位置を図 2-2.16図に示す。

調査地域の主要な眺望点としては、事業実施想定区域の北側に位置する甘南備山、南西側に位置する国見山及び東側に位置する飯岡丘陵があげられる。

調査地域の景観資源としては、主要な眺望点である甘南備山及び国見山のハイキングコースや、京都の自然200選に記載されている飯岡丘陵などがあげられる。

表 2-2.43 調査地域の主要な眺望点一覧

番号	名称	出典
1	甘南備山	①、③
2	国見山	②
3	飯岡丘陵	①

注. 番号は、図 2-2.16 (赤字) に対応している。

出典：①「京都の自然 200 選」(京都府ホームページ)
：②「きてみて枚方マップ 枚方八景」(枚方市ホームページ)
：③「甘南備山マップ」(平成 25 年、公益社団法人薪甘南備山保存会)

表 2-2.44 調査地域の景観資源一覧

番号	名称	分類	出典
1	咋岡神社の「スダジイ」	植物	①
2	一休寺	景観(花)	③
3	甘南備山	ハイキングコース・眺望点	①、④
4	国見山	ハイキングコース・眺望点	②
5	飯岡丘陵	地形・地質	①

注. 番号は、図 2-2.16 (青字) に対応している。

出典：①「京都の自然 200 選」(京都府ホームページ)
：②「きてみて枚方マップ 枚方八景」(枚方市ホームページ)
：③「四季の見どころ花散歩」(京都府・市町村共同統合型地理情報システム GIS)
：④「甘南備山マップ」(平成 25 年、公益社団法人薪甘南備山保存会)



図 2-2.16 主要な眺望点及び景観資源位置図

2) 人と自然との触れ合い活動の状況

調査地域の人と自然との触れ合い活動の状況を表 2-2.45に、人と自然との触れ合い活動の場を図 2-2.17に示す。事業実施想定区域の北側に位置する甘南備山や、西側に位置する国見山、交野山などにはハイキングコースがある。また、枚方市野外活動センターや京田辺市野外活動センターは、キャンプ場などレクリエーション施設として利用されている。そのほか、調査地域の東側を流れる木津川の河川敷には運動公園、防賀川沿いには緑道があり、その中心部にスポーツ施設を併設した防賀川公園がある。

表 2-2.45 調査地域の人と自然との触れ合い活動の状況

番号	名称	分類	出典
1	昨岡神社の「スタジイ」	植物	①
2	虚空蔵谷の滝	地形・地質	①
3	一休寺	景観（花）	④
4	田辺木津川運動公園	公園	③
5	草内木津川運動公園	公園	③
6	防賀川公園	公園	③
7	防賀川緑道	公園	③
8	田辺公園	公園	③
9	ふわふわ公園	公園	③
10	諏訪ヶ原公園	公園	③
11	王仁公園	公園	⑥
12	枚方東部公園	公園	⑦
13	京田辺市野外活動センター （竜王こどもの王国）	キャンプ場	⑤
14	枚方市野外活動センター	キャンプ場	⑦
15	甘南備山	ハイキングコース	①、⑧
16	国見山	ハイキングコース	⑥、⑨
17	交野山	ハイキングコース	⑨、⑩
18	飯岡丘陵	地形・地質	①、②

注. 番号は、図 2-2.17 に対応している。

出典：①「京都の自然 200 選」（京都府ホームページ）

：②「景観資産登録地区」（京都府ホームページ）

：③「緑のまちづくり室（主な公園等施設）」（京田辺市ホームページ）

：④「四季の見どころ花散歩」（京都府・市町村共同統合型地理情報システム GIS）

：⑤「京田辺市野外活動センター」（京田辺市ホームページ）

：⑥「きてみて枚方マップ 枚方八景、公園」（枚方市ホームページ）

：⑦「野外活動センター、公園みどり推進室」（枚方市ホームページ）

：⑧「甘南備山マップ」（平成 25 年、公益社団法人薪甘南備山保存会）

：⑨「生駒の自然歩道を歩こう」（大阪府ホームページ）

：⑩「いこいこマップ」（平成 25 年、生駒山系広域利用促進協議会）

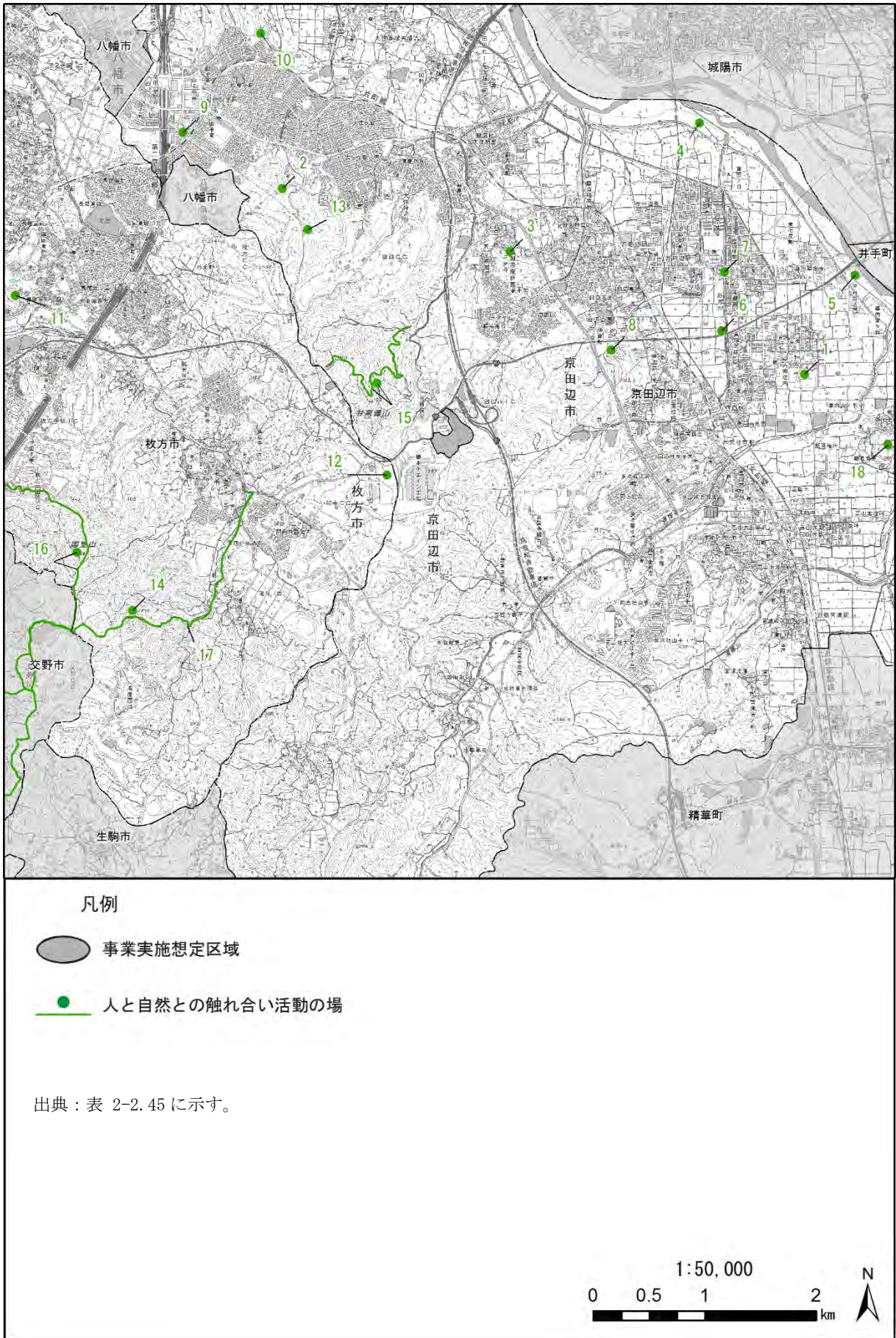


図 2-2.17 人と自然との触れ合い活動の場位置図

(7) その他の事項

調査地域における平成24～26年度の典型7公害（大気汚染、騒音、振動、悪臭、水質汚濁、土壌汚染、地盤沈下）に関する公害苦情件数を表 2-2.46に示す。

これにより最近の傾向として平成26年度を見ると、京田辺市では騒音（22件）、大気汚染（11件）、水質汚濁（7件）の順で、枚方市では騒音（70件）、水質汚濁（25件）、大気汚染（24件）の順で公害苦情件数が多く、土壌汚染及び地盤沈下に関する公害苦情の報告はない。

表 2-2.46 調査地域の公害苦情件数

項目	年度	京田辺市 (件)	枚方市 (件)
大気汚染	平成 24 年度	17	15
	平成 25 年度	16	36
	平成 26 年度	11	24
騒音	平成 24 年度	8	57
	平成 25 年度	7	63
	平成 26 年度	22	70
振動	平成 24 年度	2	4
	平成 25 年度	0	10
	平成 26 年度	2	10
悪臭	平成 24 年度	4	9
	平成 25 年度	2	9
	平成 26 年度	5	5
水質汚濁	平成 24 年度	5	31
	平成 25 年度	5	29
	平成 26 年度	7	25
土壌汚染	平成 24 年度	0	0
	平成 25 年度	0	0
	平成 26 年度	0	0
地盤沈下	平成 24 年度	0	0
	平成 25 年度	0	0
	平成 26 年度	0	0

出典：「平成 25～27 年度版 京都府環境白書」（平成 26～28 年、京都府）

：「平成 25～27 年版 ひらかたの環境」（平成 25～27 年、枚方市）